

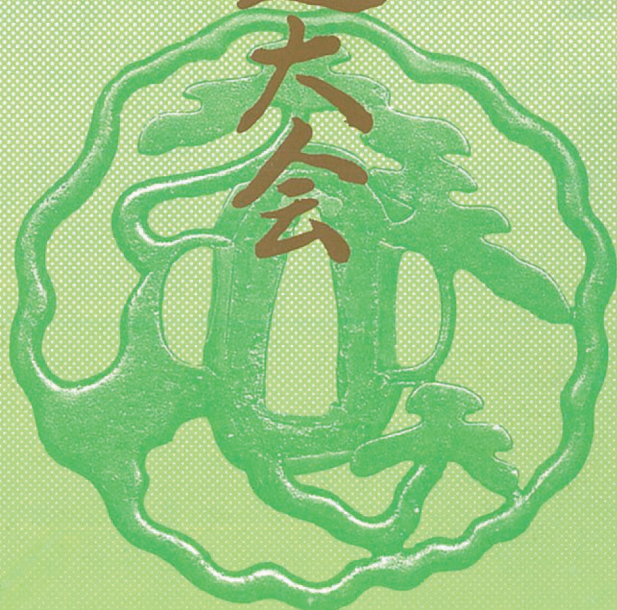
第50回

創立五十周年記念



関東実業団剣道大会

と き 平成20年6月1日(日)
ところ 日本武道館
主 催 関東実業団剣道連盟
後 援 全日本実業団剣道連盟
(財)全日本剣道連盟
(財)日本武道館
東京新聞・東京中日スポーツ



ご挨拶

関東実業団剣道連盟
会長 鬼澤 正

本日ここに、記念すべき第五十回関東実業団剣道大会を開催するに当り、一言ご挨拶を申し上げます。

今回は、第五十回大会にふさわしく、十年前の二百五十チームには及びませんが、漸く二百チームを超える参加を得て、本大会を開催することができました。これも偏えに関係各社と先輩各位、後援諸団体並びに選手諸君のご理解ご協力の賜と、深く感謝申し上げます次第であります。



ご高承の通り、わが国経済は、戦後最長の景気拡大記録を更新し、回復基調にありましたが、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界経済の不確実性が高まる中で、景気の減速を余儀なくされつつあります。業績を伸長していた会員各社も、それぞれその対応を迫られております。

このような経済環境下にあつて、本大会参加の選手諸君は、それぞれの立場で企業活動に専心される傍ら、剣の道の錬磨を怠らず、本大会に参加されましたことは、洵に有難く、心から敬意を表するものであります。本大会においては、平素鍛練の成果を十二分に発揮し、悔いのない戦いを展開されますことを心から切望する次第であります。

終りに望み、本大会開催に当り、ご支援ご協力を賜りました大会役員・審判の緒先生はじめ、関係各位に、心からお礼申し上げてご挨拶いたします。

大会次第

☆開 会 式 九・〇〇〜九・五〇

- 1 役員整列・選手入場行進
- 2 開 会 の 辞
- 3 国 歌 斉 唱
- 4 優 勝 旗 返 還
- 5 宮田杯返還・レプリカ贈呈
- 6 大会会長挨拶
- 7 来 賓 祝 辞
- 8 審判長の説 辞
- 9 選手代表の宣誓
- 10 選 手 退 場

☆団体試合 一〇・〇〇〜一六・三〇

- 1 一回戦から四回戦まで (16試合場)
(二・〇〇〜二・四五 昼食休憩)
- 2 五 回 戦 (8試合場)
- 3 準々決勝 (4試合場)
- 4 準 決 勝 (1試合場)
- 5 決 勝 戦 (1試合場)

☆閉 会 式 一六・三〇〜一七・〇〇

- 1 役員選手整列
- 2 成 績 発 表
- 3 表 彰
- 4 閉 会 の 辞
- 5 解 散

大会役員

大会最高顧問

【順不同敬称略】

全日本実業団剣道連盟 会長 加賀谷 誠 一
 (財)全日本剣道連盟 会長 武安 義 光
 (財)日本武道館 会長 松永 光
 (財)日本武道館 理事長 臼井 日出男
 中日新聞社 社長 大島 寅夫

大会名誉顧問

(財)全日本剣道連盟 専務理事 福本 修 二
 中日新聞社 東京本社 代表 小出 宣 昭
 東京新聞 事業局長 森 要 造
 東京中日スポーツ 総局長 西山 和 夫
 全日本実業団剣道連盟 相談役 中村 龍 夫
 全日本実業団剣道連盟 相談役 櫻庭 庄 市
 全日本実業団剣道連盟 相談役 徳増 須磨 夫
 全日本実業団剣道連盟 顧問 壺岐 健 志

大会会長

関東実業団剣道連盟 会長 鬼澤 正

大会副会長

全日本実業団剣道連盟 副会長 星野 一 雄
 全日本実業団剣道連盟 副会長 浅野 直 道
 全日本実業団剣道連盟 副会長 植村 裕 之

大会委員長

関東実業団剣道連盟 理事長 小杉 信太郎

大会委員

全日本実業団剣道連盟 理事 鈴木 木 一
 全日本実業団剣道連盟 理事 野正 豊 稔
 全日本実業団剣道連盟 理事 松村 義 隆
 全日本実業団剣道連盟 理事 江連 尚 雄
 全日本実業団剣道連盟 理事 大塚 勝 久
 全日本実業団剣道連盟 理事 瀧本 英 樹
 全日本実業団剣道連盟 理事 中村 治 夫
 全日本実業団剣道連盟 理事 大串 喜 胤
 全日本実業団剣道連盟 理事 清水 宣 治

大会顧問

〔出場会社代表者の部〕(五十音順)

(株) 秋田 銀行 頭取 藤原 清 悦
 浅 田 新 (株) 社長 浅田 光 彦
 朝日生命保険 (株) 社長 藤 田 讓
 アサヒビール (株) 社長 荻 田 伍
 (株) あ ど Q 社長 楠 木 勇 滋
 (株) 伊 勢 丹 社長 武藤 信 一
 伊田テクノス (株) 社長 伊田 登喜三郎
 出光 興 産 (株) 社長 天坊 昭 彦
 伊藤忠 商事 (株) 社長 小林 栄 三
 イヌイ 運送 (株) 社長 乾 康 之
 (有) 栄光 武道 具 社長 間 所 栄 次
 エーザイ (株) 社長 内藤 晴 夫
 SCS 流通 (株) 社長 塩澤 好 久
 SMC (株) 社長 丸山 勝 徳
 (株) エヌ・ティ・ティ・データ 社長 山下 徹
 (株) NTTドコモ 社長 中村 維 夫
 (株) 大塚 家具 社 社長 大塚 勝 久
 オリックス (株) 社長 梁瀬 行 雄
 鹿島 建設 (株) 社長 中村 満 義
 (株) 金子 製作 所 社長 飯村 正 博
 兼 松 (株) 社長 三輪 徳 泰
 カミナガ 販売 (株) 社長 藤田 豊 平
 キヤノン (株) 社長 内田 恒 二

(株)ジャパンエナジー	戸田宮崎英輝
新日本製鐵(株)	本社 田 菊池 淳
新日本製鐵(株)	君津木下潤一
新日本石油(株)	渡辺元治
新菱冷熱工業(株)	高岡尚平
(株)杉田製線	杉田光治
住友商事(株)	瀧瀬郁雄
住友生命保険(相)	荒木登志松
住友不動産販売(株)	小山智之
セントラル警備保障(株)	本社 東京 芝 部 横浜
綜警常駐警備(株)	徳山義秀
綜警ビルサービス(株)	吉田未義
綜合警備保障(株)	東京 高砂子 洋平
綜合警備保障(株)	西東京 渡 清 治
綜合警備保障(株)	神奈川 黒田 京 司
双日(株)	加瀬 豊
ソニー(株)	本社 中山 久 夫
ソニー(株)	厚木 黒岩 誠 夫
(株)損害保険ジャパン	本社 東京 中央
第一生命保険(相)	山口 法 丸
(株)大光銀行	小坂井 寛 明
大成建設(株)	片岡 稔 和
D I C(株)	橋本 忠 範
(株)大和証券	富田 晴 彦
千歳商会(株)	門脇 正 之
中央三井信託銀行(株)	本村 吉 賢

千代田化工建設(株)	米田 徳 仁
(株)電 通	嘉村 裕 三
東京海上日動火災保険(株)	本店 東京 中央
東京ガス(株)	本社 東京 中央
(株)東京かに道楽	新宿 落 丸 健 行
東京システム運輸(株)	東京 多摩 丸 下 直 人
東京電力(株)	本社 東京 中央
東京電力(株)	群 馬 桑 弘 平
東京日野自動車(株)	落 合 正 勝
(株)東 芝	府 中 掛 水 宣 房
(株)ドウシシャ	本社 東京 坂 本 源 治
東武鉄道(株)	三 輪 裕 章
東北電力	安 倍 宣 昭
東洋水産(株)	本社 品川 安 永 功 良
東レ(株)	本社 大 谷 直 之
戸田建設(株)	三 島 大 谷 直 之
凸版印刷(株)	本社 東京 豊 島 利 弘 明
トッパン・フォームズ(株)	本社 日野 村 田 敏 彦 浩
トッパン・フォームズ(株)	本社 日野 村 田 敏 彦 浩
(株)ニチベイ	本社 生産 本部 益 子 岡 義 昭
日 鋳 金 属(株)	日 立 宮 林 良 次 之
日産ディーゼル工業(株)	小 谷 林 良 次 之
日通商事(株)	本社 東京 L S 飛 田 克 彦

(株)NIPPONコーポレーション	佐々木 聰
日本アイ・ビー・エム(株)	大 箱 崎 本 社
(株)日本運搬社	田 中 久 達 也
日本興亜損害保険(株)	鈴 木 貞 三
(株)日本航空	足 立 有
日本航空電子工業(株)	山 崎 和 夫
日本精工(株)	神 尾 泰 宏
日本通運(株)	本 社 宮 近 清 文
日本通運(株)	東京 航空 作 道 誠 見
日本通運(株)	東京 航空 作 道 誠 見
日本電気(株)	本 社 川 上 耕 毅
日本電気(株)	府 中 酒 井 清 志
日本電気(株)	玉 川 黒 沢 潤 一 郎
日本電信電話(株)	宮 田 邦 彦
日本ヒューレット・パックス(株)	高 橋 正 陽
日本無線(株)	賀 来 岳 彦
(株)野村総合研究所	徳 地 隆 弘
(株)博 報 堂	土 井 克 仁
パイオニア(株)	栗 原 俊 彦
パシフィックコンサルタンツ(株)	中 村 全 孝
バンニョク・クワイ・ユニオン(株)	甲 府 渋谷 富 彦
羽田タートルサービス(株)	佐 藤 富 彦
東日本電信電話(株)	本 社 尾 崎 秀 彦
東日本電信電話(株)	本 社 尾 崎 秀 彦
東日本電信電話(株)	本 社 尾 崎 秀 彦
東日本電信電話(株)	本 社 尾 崎 秀 彦
東日本旅客鉄道(株)	本 社 三 浦 磨

東日本旅客鉄道(株)	東京 橋 本 西 清 博
日立建機(株)	遠 西 明
(株)日立製作所	本社 宮 川 良 輔
(株)日立製作所	大 崎 松 井 宏 之
(株)日立製作所	佐 和 内 山 薫
(株)日立製作所	中央 研究 所 後 藤 康
日立電線(株)	会 田 亮 一
富士機械(株)	中 村 紀 夫
富士ゼロックス(株)	本 社 銀座 港 立 山 健 治
富士ゼロックス(株)	本社 新宿 城 野 上 誠 一
富士通(株)	有 川 保 仁
富士フイルム(株)	東京 本社 鷗 殿 真 一 郎
富士フイルム(株)	神奈川 後 藤 剛 生
ブリヂストンエラストック(株)	大 石 豊
(株)ベア・ハグ	本店 渋谷 柳 陽 一
(株)本田技術研究所	栃 木 辻 圭 一 郎
(株)本田技術研究所	埼 玉 中 村 織 雄
望星サイエンス(株)	本社 横浜 田 町 公 文 浩
松下電工(株)	東京 本社 田 町 小 島 重 夫
丸 紅(株)	内 幸 町 田 辺 寿 之
(株)みずほ銀行	大 手 町 仁 多 見 斎
(株)三和商工	本社 鶴 見 家 令 光 国
三井化学(株)	市 原 佐 藤 賢 一
三井住友海上火災保険(株)	新 宿 本 店 戸 所 伸 治
(株)三井住友銀行	本店 東京 中央 野 吉 田 純 也
三井不動産(株)	藤 原 孝 弘

三井物産(株)	土 肥 茂
三菱化学(株)	吉 里 彰 二
三菱商事(株)	本 店 品川 今 川 裕 裕
三菱地所(株)	本 店 恵比 寿 林 川 裕 裕
三菱重工業(株)	本 社 泉 澤 清 次
三菱重工業(株)	相 模 原 尾 上 光 夫
三菱電機(株)	横 浜 吉 川 義 幸
(株)三菱東京UFJ銀行	本 店 丸の内 大手 町 藤 麻 心 一
森永乳業(株)	鈴 木 盛 夫
ヤマハ(株)	牛 田 隆 男
横河電機(株)	東 京 鉄 村 直 哉
(株)リ コ ー	見 原 正 弘

実行委員

委員長
鈴木一

総務
川口文夫
岡本 碓
永田忠勇
栗田進太郎

(会計)
森口孟
草野孝紀

(写真)
高沢彰
月岡照喜

受付・総括
松村義隆

(審判・審判顧問)
丸茂哲子
富田悦子
遊佐明子

(役員・来賓)
小池静乃
三宗裕子

(選手)
栗田進太郎
森口孟
関東学生剣連8名

放送
山本美千代
別府さつき
山崎洋子
高沢彰

(ミキサー室)
関東学生剣連2名

選手変更
曲山光男
中山由美

会場・進行
中村治夫
大島一晃
栗田進太郎

審判
岡本碓
川野雅英

記録
対馬一

(書記)
平山武
(書記)
田中佳代子
(書記)
斎藤悦子
(記録)
関東学生剣連4名

揭示
水越基
関東学生剣連10名

警備・防災
森口孟

(防火)
道内光男
関東学生剣連5名

駐車
水越基
関東学生剣連4名

救護
濱昭祐
姫野優子
小浦啓子

(医師)
赤沢麻江
坂口節子
岸浪美栄子
関東学生剣連2名

(フラー)
遠藤時子
藤本信子
設楽紀代乃
尾名高見佐子
関東学生剣連12名

(審判室)
関東学生剣連12名

弁当
奥田博義
北口利絵
佐藤美知恵
春原万里子
関東学生剣連2名

上記委員を主軸として、関東学生剣道連盟傘下大学剣道部員の協力を得て、大会進行・運営を行います。

(〇印は主任)

試 合 場 係		時 計 係 記 録 係 掲 示 係 選 手 係 ○印＝責任者
第一試合場 桜美林大学 ○脇 翔 士 他四名	第三試合場 専修大学 ○森 龍 也 他四名	
第二試合場 国学院大学 ○下 川 智 之 他四名	第四試合場 中央大学 ○小 林 朋 洋 他四名	第五試合場 日本大学 ○陸 隼 人 他四名
	第六試合場 明治大学 ○齋 藤 達 也 他四名	第八試合場 東京大学 ○松 隈 庸 太 他四名
	第九試合場 慶応義塾大学 ○田 村 有 慶 他四名	第十一試合場 早稲田大学 ○野 崎 昂 太 他四名
	第十二試合場 日本体育大学 ○宮 本 健 太 他四名	第十四試合場 慶応義塾大学 ○細 貝 啓 他四名
	第十五試合場 明治大学 ○有 田 圭 助 他四名	
	第十七試合場 国学院大学 ○岡 部 伸 弘 他四名	

『剣道の理念』
(昭和五十年三月二十日制定)
剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である

『剣道修練の心構え』
(昭和五十年三月二十日制定)
剣道を正しく真剣に学び心身を練磨して旺盛な氣力を養い剣道の特性を通じて礼節をとようとび信義を重んじ誠を尽くして常の自己の修養に努め以って国家社会を愛して広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである

『剣道指導の心構え』
(平成十九年三月十四日制定)
(竹刀の本意)
剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

(礼法)
相手の人格を尊重し、豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

(生涯剣道)
ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

会場略図

試合場は東西に分け、東側に1～8試合場、西側に9～16試合場が設けてあります。控席は1番(伊田テクノス 本社)から103番(三井住友海上 本店)までは1階の東側に、104番(東芝テックビジネスソリューション 本社)から207番(東洋水産 本社)までは1階の西側に設けてあります。

【試合要領】

(1) 第1 試合開始の礼：各試合場に審判・選手が整列し、大会本部の号令で正面への礼と相互の礼を行なった後、先鋒が立礼の位置に立ったとき審判長の笛の合図で一斉に開始します。

(2) 試合時間：1 回戦から準々決勝までは3 分間、準決勝・決勝は4 分間とします。
この時間内で勝負が決しない場合は引き分けとします。

(3) 勝敗の決定：勝敗は勝者数で決めます。勝者同数の場合は勝本数で決めます。勝者数・勝本数が同数の場合は代表者戦を行います。

(4) 代表者戦：3 分間1 本勝負とします。
この時間内で勝敗が決しない場合は、時間無制限の延長戦を勝敗が決するまで行います。

(5) 休憩：各試合場とも試合番号⑧の試合が終了した時点で昼食休憩を取ります。

(6) 午後の試合再開：試合開始時間は館内放送でお知らせします。
試合再開は、各試合場ごとに相互の礼をすませ、試合者が立礼の位置にたったとき、審判長の合図で一斉に開始します。

(7) 試合場：準決勝・決勝は、中央に新設して、1 試合ずつ行います。

審判団

審判顧問
順不同・敬称略

範士九段
森島健男

審判長
倉澤照彦

範士八段
佐藤博信

審判主任
範士八段
小笠原宗作

加藤浩二

矢野博志

武藤久夫

大塚敬彦

田原弘徳

千葉英宏

長尾

審判員

教士八段
川瀬能男

栗原正和

戸田忠男

伊藤知治

平川信夫

矢野尊之

岡野薫

工藤雄司

佐藤安治

鹿野莞爾

教士八段
網代忠宏

忍足功

脇本三千雄

教士八段
友川紘一

倉澤正一

近光正

中山峯雄

教士七段
松岡由樹

佐藤聰

山口昭夫

一川英機

倉橋利彦

桑原哲哉

平田和夫

松田憬

中村誠

小沢春

大内陸男

鯨米井久芳

佐山野榮一

二見春章

小川田福喜

吉田橋司

高橋秀隆

伊藤隆

倉澤川崎

相川野田

平崎

川崎

柴野

小田野

西南脇

高柳

飯島

高柳

栗原正治

船津正

入井徳

千井胤

氏家道男

高橋亨

林信

清水克己

佐藤

竹崎

眞田

斎藤

若杉

斎藤

小川

米山

猶井

安部

矢作

林宏明

関口

松川

福澤

古澤

数金

齋藤

恒次

大野泰史

工藤丸

中吉

國部

渡部

関川

初見

曾我

信廣

姫我

伊藤

廣野

小永

篠林

伊藤

菊池

鈴木

加藤

田中

金子

金山

山本

第 50 回 関 東 実 業 団

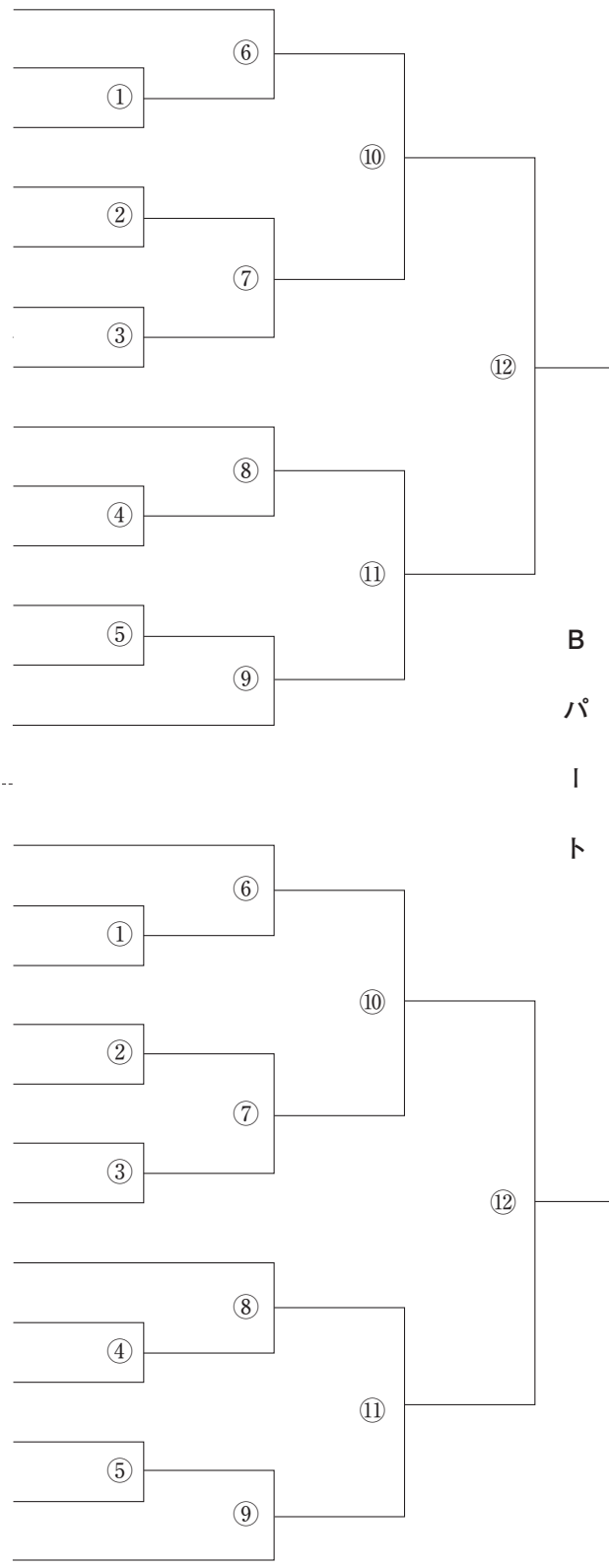
東 側 プ

【 3 試 合 場 】

杉 田 製 線	26
富 士 機 材	27
S C S 流 通	28
凸 版 印 刷 (坂 戸)	29
東 京 海 上 日 動 (東京中央)	30
住 友 生 命	31
J F E (千 葉)	32
大 塚 家 具 (有 明)	33
大 和 証 券	34
ニ チ ベ イ (生産本部)	35
日 立 建 機	36
ベ ア ハ グ (渋谷)	37
栗 田 工 業	38

【 4 試 合 場 】

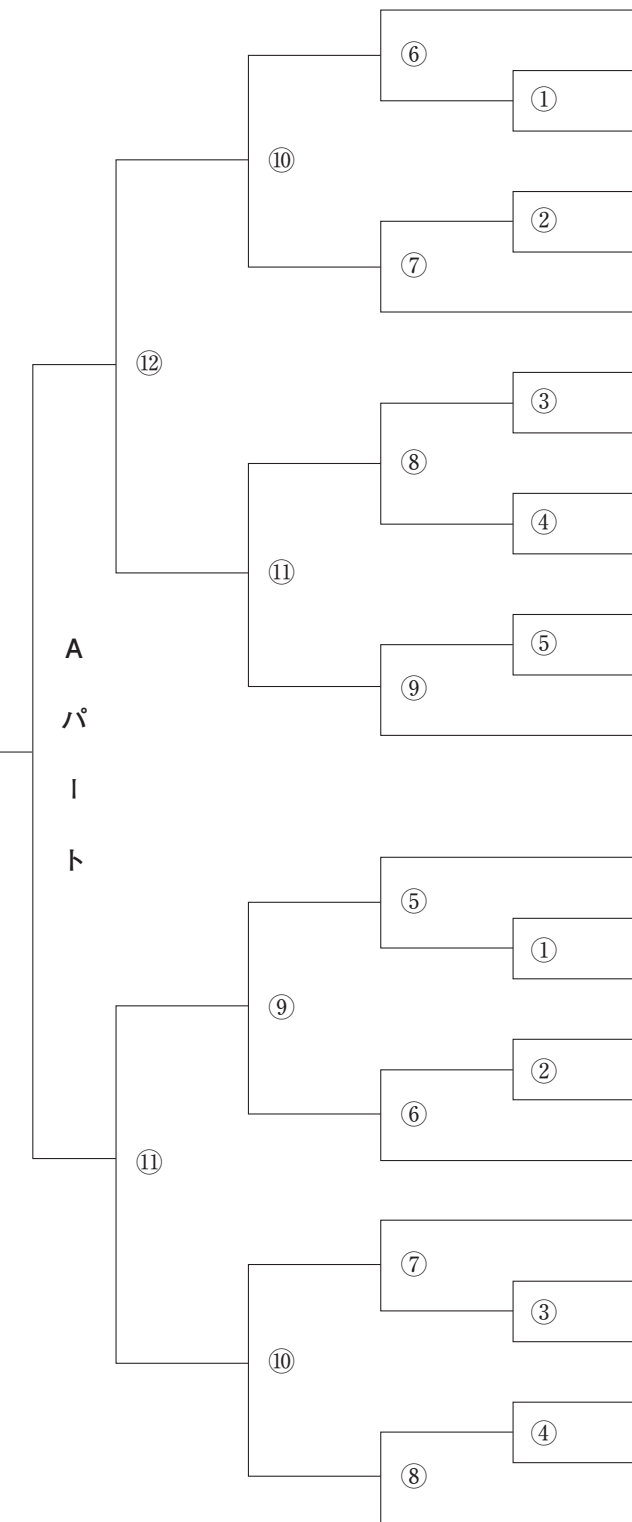
JR東日本リテールネット (東 京)	39
東 京 電 力 (本 店)	40
栄 光 武 道 具	41
綜 合 警 備 (神奈川)	42
日 本 通 運 (東京航空)	43
サ ー モ テ ッ ク	44
み ず ほ 銀 行 (内幸町)	45
京 浜 急 行 電 鉄	46
ソ ニ ー (厚 木)	47
トッパン・フォームズ (東 海)	48
東 京 か に 道 楽 (新 宿)	49
シ モ ン (本 社)	50
中央三井信託銀行	51



剣 道 大 会 組 合 せ 表

ロ ッ ク

A
パ
ー
ト

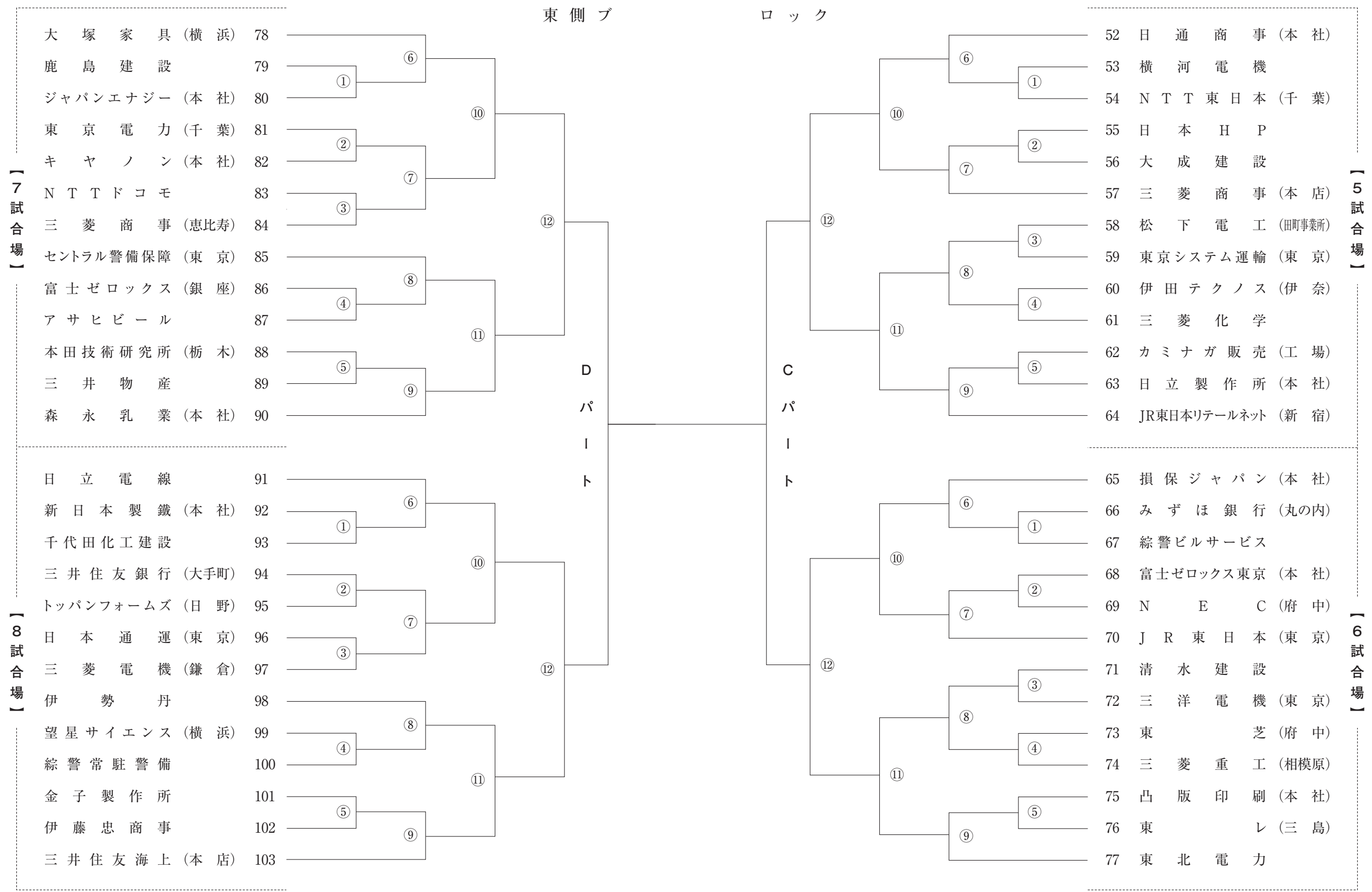


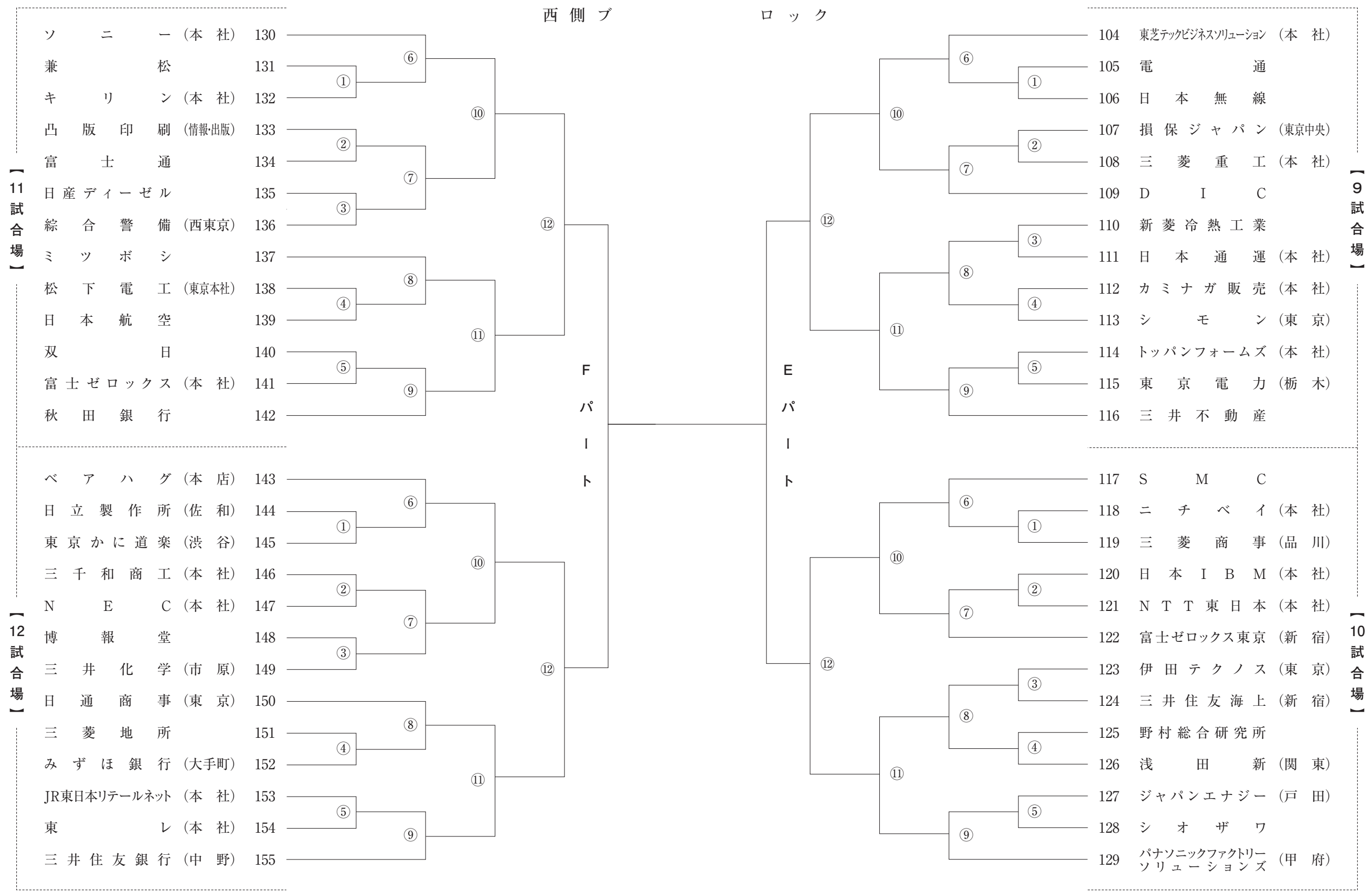
1 伊 田 テ ク ノ ス (本 社)
2 出 光 興 産 (本 社)
3 日 本 I B M (箱 崎)
4 K D D I (本 社)
5 N T T デ ー タ
6 講 談 社
7 新 日 本 石 油
8 第 一 生 命
9 東京システム運輸 (多 摩)
10 三菱東京UFJ銀行 (大手町)
11 東 洋 水 産 (品 川)
12 三 井 住 友 海 上 (神 田)
13 三 井 住 友 銀 行 (東 京)

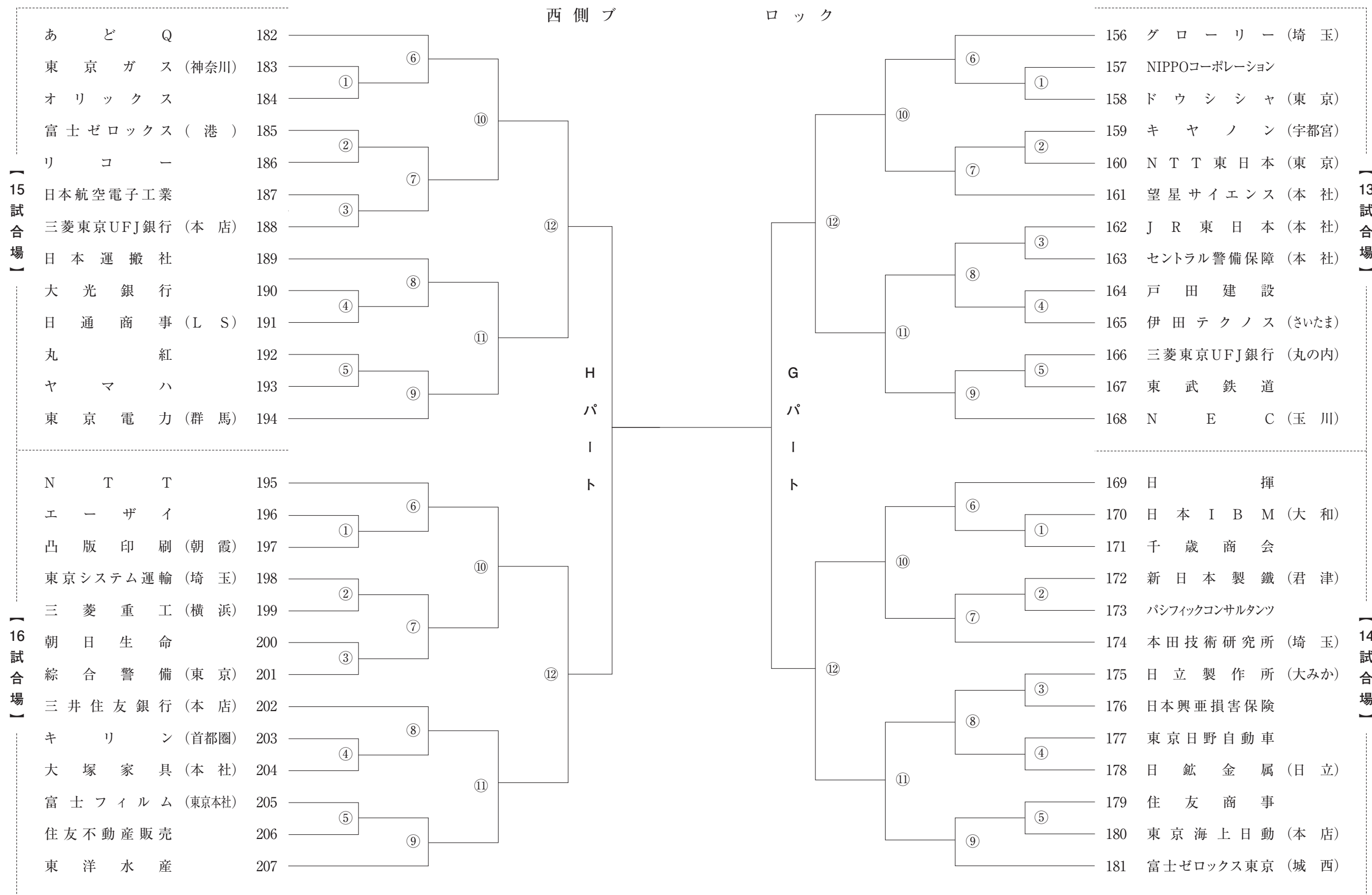
14 セントラル警備保障 (横 浜)
15 京 葉 銀 行
16 パ イ オ ニ ア
17 日 本 精 工
18 富士ゼロックス東京 (城 東)
19 羽田タートルサービス
20 プリヂストンエラストック
21 イ ヌ イ 運 輸
22 日 立 製 作 所 (中央研究所)
23 東 京 ガ ス (本 社)
24 富 士 フ ィ ル ム (神奈川)
25 三 千 和 商 工 (鶴 見)

【 1 試 合 場 】

【 2 試 合 場 】

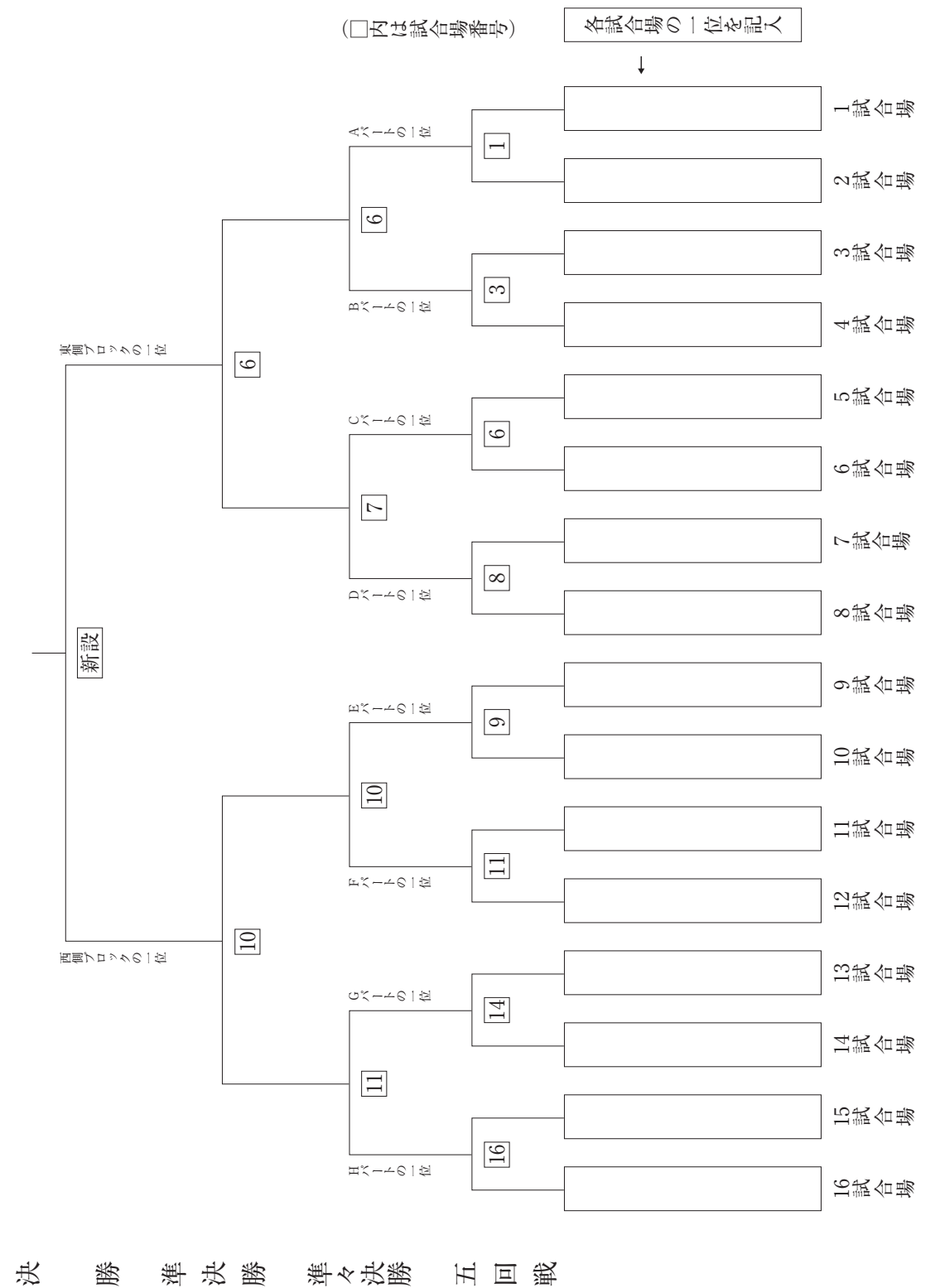






栄冠をめざし
鎬をけずる関東実業団の精鋭
207チームの横顔

監督 四本 田朋基 34 大將 四本 田朋基 34 副將 四中 村光宏 37 中堅 四中 生地志有 24 次鋒 五田 村隆文 34 先鋒 四高 田浩睦 27 補欠 四薄 井千恵 25	9 東京システム運輸 (多摩)	監督 五三 浦康弘 44 大將 六石 井鉄雄 37 副將 三上 田健康 36 中堅 三生 駒健二 31 次鋒 四古 口貴憲 28 先鋒 三栗 原正憲 35 補欠 五三 浦康弘 44	5 N T T データ	監督 六佐々木 誠 40 大將 五内 田貢市 30 副將 五橋 本桂一 27 中堅 五田 口大輔 27 次鋒 五矢 田野圭介 30 先鋒 四内 田祐司 25 補欠 六佐々木 誠 40	1 伊田テクノス(本社)
監督 六金 折基治 44 大將 五片 桐毅 34 副將 五植 木正光 35 中堅 五正 岡孝之 35 次鋒 四小 林文峰 29 先鋒 五酒 井雅之 33 補欠 六金 折基治 44	10 三菱東京UFJ銀行 (大手町)	監督 五森 武文 56 大將 五赤 岩一 郎 33 副將 三永 島無 我 32 中堅 三石 引卓 24 次鋒 三斉 藤太 郎 32 先鋒 四安 田匡輝 29 補欠 三中 村美徳 34	6 講談社	監督 五中 野憲之 45 大將 五中 野憲之 45 副將 三兄 玉秀文 43 中堅 五福 井義則 36 次鋒 四田 中研一 38 先鋒 四川 島崇志 35 補欠 四稲 満孝雄 52	2 出光興産(本社)
監督 七坂ノ上 誠 48 大將 四市川 威徳 36 副將 六本郷 貴久 38 中堅 四森山 英司 34 次鋒 四大堀 啓一 37 先鋒 六小川 紀 36 補欠 六鬼束晃 40	11 東洋水産(品川)	監督 七海野 克彦 53 大將 六君島 崇史 40 副將 五柴谷 勇 39 中堅 五神長 亨 31 次鋒 四森 徳之次 45 先鋒 三山田 三成 22 補欠 四船戸 直 23	7 新日本石油	監督 六岡崎 高 41 大將 五土家 恒生 32 副將 五石井 太郎 32 中堅 四福井 健太郎 30 次鋒 三浅井 知光 28 先鋒 二加藤 慎也 28 補欠 三糸山 宜孝 29	3 日本IBM(箱崎)
監督 五下畑 精一郎 39 大將 五清水 謙次 35 副將 四中村 元 24 中堅 五北原 正樹 33 次鋒 三東内 達哉 22 先鋒 四山邊 浩規 22 補欠 六関 守雅 40	12 三井住友海上 (神田)	監督 三柏 清貴 42 大將 六小口 正太 38 副將 六坂口 直 31 中堅 三原 正 31 次鋒 三樋口 佳耶 23 先鋒 五矢野 雅之 28 補欠 三我孫子 亮太 22	8 第一生命	監督 五小長 純一郎 50 大將 四豊田 雄一郎 38 副將 四渡部 友巖 33 中堅 四田島 浩人 46 次鋒 四林屋 一則 34 先鋒 五田中 曉 32 補欠 三黒崎 聡子 28	4 K D D I(本社)



監督五塩澤好久45 大将六横山恒夫50 副将五園耕三50 中堅五小倉靖之46 次鋒七阿部正人50 先鋒五宮内雄50 補欠五永島宗行40	33 大塚家具(有明)	監督四今泉仁成36 大将四田沖大介32 副将四田倉広行31 中堅四猿山哲也23 次鋒五小森新一郎32 先鋒四岩井考之24 補欠四多田隈宗騎30	38 栗田工業	監督五八十島満44 大将四高橋信介34 副将四齊藤博之34 中堅四須藤孝彰33 次鋒三佐藤伸33 先鋒三喜納祐介33 補欠五八十島満44
監督六工藤浩史50 大将三斎藤啓人24 副将四石井律45 中堅三鈴木成彦32 次鋒四國島圭25 先鋒三錦織智也28 補欠五荒木康光46	34 大和証券	監督六富田晴彦45 大将五吉田喜由33 副将五菅野貴史30 中堅五河上昌弘31 次鋒五光田岳史32 先鋒四鈴木和優26 補欠三神田慶司28	39 JR東日本リテール(東京)	監督五仲田尚史35 大将四林田和尚26 副将六会田幸三33 中堅五渡辺年崇37 次鋒四山本恭平22 先鋒四久野秀行24 補欠四相川孝一32
監督五露口泰介48 大将五森上雄治31 副将四有森高史28 中堅四松藤健太郎29 次鋒四鴨下卓臣23 先鋒四天野孝紀22 補欠四二牟禮弘樹27	35 ニチベイ(生産本部)	監督七荻津太41 大将七荻津太41 副将四津茂谷知由32 中堅五田中智和34 次鋒四金子智晃25 先鋒三清田仁24 補欠四吉田直樹22	40 東京電力(本店)	監督六田村哲41 大将六山中佳英32 副将六篠田雅浩36 中堅六田山雄平36 次鋒五上野達之26 先鋒四熊野健29 補欠三鈴木哲平26
監督六山口尚彦49 大将五中島興正35 副将三近藤宗孝25 中堅四福田晋太郎26 次鋒三萩原恭平25 先鋒四眞開恭巧25 補欠三増田研至37	36 日立建機	監督遠西清明46 大将六永田博英40 副将四伊東英明32 中堅四小野塚義文27 次鋒三安田朋広27 先鋒四糸賀悠介25 補欠三佐藤尚美38	41 栄光武道具	監督三間所栄次58 大将四高村賢吾28 副将五間所俊晴33 中堅五間所明30 次鋒五安藤義明26 先鋒三井上藤功23 補欠三田中賢智28
監督五今野光雄54 大将五香川卓士40 副将四難波良彰38 中堅三永島武幸36 次鋒二稲垣育亮25 先鋒二山本寛21 補欠五湯淺一成47	37 ベアハグ(渋谷)	監督五柳陽一39 大将四山根聖司27 副将三斎木研太25 中堅三本名源裕28 次鋒三穂積佑希23 先鋒二道脇遵一23 補欠三佐藤貴洋25	42 総合警備(神奈川)	監督五武田智成34 大将四石森久教28 副将五嘉山崇丸30 中堅四安藤伸秀26 次鋒四加藤誠之28 先鋒四玉利通25 補欠四山本翼25

監督 六 庄 司 浩 徳 43 大将 三 字 根 岡 真 弥 26 副将 六 宮 原 史 郎 37 中堅 三 秋 山 聡 士 25 次鋒 五 高 司 賢 吾 37 先鋒 三 中 村 仁 識 20 補欠 五 大 野 雅 史 35	23 東京ガス(本社)	監督 六 加 納 功 一 36 大将 六 加 納 功 一 36 副将 四 山 口 亮 宏 31 中堅 五 安 藤 和 廣 31 次鋒 五 深 澤 陽 平 29 先鋒 三 星 野 将 弘 23 補欠 四 戒 洋 夏 23	18 富士ゼロックス東京(城東)	監督 六 梶 山 和 徳 41 大将 五 大 島 貴 明 36 副将 三 成 瀬 道 紀 23 中堅 四 山 崎 将 志 24 次鋒 三 早 川 創 23 先鋒 四 小 島 寛 23 補欠 三 近 藤 二 郎 25	13 三井住友銀行(東京)
監督 三 石 塚 義 夫 57 大将 五 熊 坂 英 明 34 副将 二 有 光 治 人 29 中堅 五 後 藤 剛 生 35 次鋒 四 今 村 清 文 29 先鋒 三 富 田 泰 平 20 補欠 四 柳 瀬 勝 41	24 富士フイルム(神奈川)	監督 六 田 辺 剛 人 36 大将 六 田 辺 剛 人 36 副将 四 伊 豆 丸 洋 一 28 中堅 四 高 橋 秀 和 26 次鋒 三 松 竹 浩 樹 20 先鋒 四 阿 部 雅 淑 24 補欠 四 佐 藤 富 彦 52	19 サ羽田タービートル	監督 五 国 分 辰 男 32 大将 三 万 江 勇 気 25 副将 三 山 崎 孝 介 22 中堅 四 勝 野 裕 介 28 次鋒 四 古 藤 豊 隆 28 先鋒 四 西 山 翔 寛 26 補欠 三 仲 田 太 21	14 セントラル警備(横浜)
監督 四 小 陽 基 善 35 大将 三 藤 田 翔 司 21 副将 三 無 津 呂 徳 司 19 中堅 三 上 野 辰 徳 23 次鋒 三 待 永 信 隆 19 先鋒 三 石 垣 明 人 21 補欠 四 小 陽 基 善 35	25 三千和商工(鶴見)	監督 五 森 下 政 則 55 大将 四 片 岡 謙 治 30 副将 六 山 田 大 介 31 中堅 六 松 井 修 司 34 次鋒 三 鈴 木 富 匡 23 先鋒 二 宮 崎 富 弘 22 補欠 二 山 本 勢 悟 25	20 エブリラステストクン	監督 五 飯 田 伸 二 49 大将 五 蒲 生 幸 久 39 副将 三 久 保 田 師 正 25 中堅 四 立 花 孝 太 24 次鋒 四 佐 瀬 勝 24 先鋒 三 長 野 靖 二 36 補欠 五 坂 井 洋 成 39	15 京葉銀行
監督 七 坂 本 房 雄 60 大将 六 遠 藤 利 幸 52 副将 五 中 村 喜 博 54 中堅 三 橋 本 敏 純 19 次鋒 四 西 田 道 広 46 先鋒 四 田 村 明 彦 46 補欠 三 宮 野 誠 嗣 36	26 杉田製線	監督 五 松 木 宏 高 40 大将 五 松 木 宏 高 40 副将 二 瀬 戸 達 也 31 中堅 六 西 田 哲 也 36 次鋒 四 元 吉 敏 勝 32 先鋒 三 山 本 克 哉 25 補欠 四 山 本 範 幸 31	21 イヌイ運送	監督 三 栗 原 俊 彦 53 大将 三 浅 野 智 央 39 副将 二 山 田 勝 洋 38 中堅 四 山 内 勝 聡 30 次鋒 三 坂 本 健 治 29 先鋒 三 荒 谷 守 29 補欠 六 大 釜 鉄 太 郎 44	16 パイオニア
監督 七 石 橋 等 41 大将 五 完 倉 正 師 33 副将 三 磯 部 典 志 35 中堅 六 北 澤 浩 明 33 次鋒 三 岡 田 良 30 先鋒 三 工 藤 介 25 補欠 七 石 橋 等 41	27 富士機械材	監督 二 後 藤 康 42 大将 三 藤 崎 耕 司 30 副将 二 足 立 光 朗 28 中堅 初 小 山 光 一 31 次鋒 二 鈴 木 英 一 30 先鋒 二 佐 藤 祐 介 29 補欠 五 水 谷 昌 彦 36	22 日立製作所(中央研究所)	監督 六 片 岩 浩 41 大将 四 平 井 徹 夫 42 副将 二 長 坂 理 史 23 中堅 三 工 藤 隆 太 23 次鋒 三 廣 田 友 昭 36 先鋒 二 日 野 修 志 25 補欠 三 小 佐 々 裕 嗣 51	17 日本精工

監督 六熊崎 寿 41 大将 幾永 一 40 副将 五尾 悟 31 中堅 五高松 岐 志 39 次鋒 四田中 史 27 先鋒 四佐伯 樹 39 補欠 五小林 健 一 39 68 富士ゼロックス東京（本社）	監督 六小島 夫 52 大将 五梅木 重 37 副将 五梶田 康 36 中堅 四秋山 隆 28 次鋒 五出 啓 28 先鋒 五佐藤 博 32 補欠 三宮路 一 32 58 松下（田町事業所）
監督 七高橋 文 58 大将 五玄田 裕 46 副将 五瀧口 修 45 中堅 六原田 由 46 次鋒 五岩山 曜 36 先鋒 四青木 利 30 補欠 二林 洋 25 69 N E C（府中）	監督 五仲田 尚 35 大将 五仲田 尚 35 副将 五香川 卓 34 中堅 六朝日 博 36 次鋒 四吉川 一 33 先鋒 六久木原 隆 34 補欠 四板山 裕 35 64 J R 東日本リテール ネット（新宿）
監督 五大津 晃 32 大将 五地濃 央 27 副将 四安吉 雄 25 中堅 四木川 拓 23 次鋒 四辻村 哲 23 先鋒 三辻野 央 24 補欠 四青木 誠 24 70 J R 東日本（東京）	監督 六鹿志村 聡 41 大将 七山田 雅 46 副将 五金光 俊 31 中堅 四齋藤 芳 28 次鋒 三福蘭 健 30 先鋒 四渡邊 司 40 補欠 三岡本 佑 27 65 損保ジャパン（本社）
監督 六西崎 健 49 大将 五和田 満 33 副将 四鈴木 孝 30 中堅 四大田 啓 25 次鋒 四大塚 喜 23 先鋒 三五十嵐 哉 22 補欠 三西村 智 31 71 清水建設	監督 六伊藤 隆 57 大将 五斉藤 貴 35 副将 五稲田 幸 34 中堅 五佐々木 生 37 次鋒 四小瀬 雄 37 先鋒 四豆田 俊 37 補欠 三松尾 武 37 66 みずほ銀行（丸の内）
監督 七猪又 貢 52 大将 五富士本 宜 43 副将 四千田 勇 28 中堅 五桑野 正 29 次鋒 三井出 幸 26 先鋒 二録澤 明 29 補欠 五三輪 武 49 72 三洋電機（東京）	監督 七古谷 光 45 大将 七古谷 光 45 副将 五伊東 康 34 中堅 四足立 慎 27 次鋒 四関根 慎 24 先鋒 三菊地 慎 18 補欠 五吉川 百合子 29 67 綜警ビルサービス

監督 七樋口 治 51 大将 五松浦 健 35 副将 四牧之内 敏 27 中堅 四久保 善 30 次鋒 四山本 博 27 先鋒 四河合 俊 28 補欠 三宮崎 智 30 53 横河電機	監督 七二橋 弘 50 大将 六相澤 良 38 副将 五伊瀬知 巧 33 中堅 六古橋 孝 40 次鋒 四鈴木 清 32 先鋒 二平野 光 27 補欠 五上田 治 41 48 フォームズ・東海
監督 六山崎 清 38 大将 六南高 昌 35 副将 五日村 圭 34 中堅 四野村 史 32 次鋒 五菅野 史 33 先鋒 三武村 浩 27 補欠 六山崎 清 38 54 N T T 東日本（千葉）	監督 七高根 毅 65 大将 五塩塚 幸 26 副将 四塩見 公 28 中堅 三福田 憲 27 次鋒 五安藤 俊 31 先鋒 四高平 怜 26 補欠 四岡田 好 25 49 東京かに道楽（新宿）
監督 四山口 和 43 大将 六高山 正 47 副将 三大坪 義 27 中堅 五只川 和 33 次鋒 三初山 竜 30 先鋒 三三池 真 35 補欠 四池本 忠 39 55 日本 H P	監督 七小川 耕 58 大将 五桜井 明 29 副将 四國吉 将 26 中堅 三大平 経 22 次鋒 四谷口 元 23 先鋒 四小金 範 23 補欠 七小川 耕 58 50 シモン（本社）
監督 七嶋谷 和 彦 60 大将 六西野 宏 37 副将 五根本 健 27 中堅 五千葉 敏 39 次鋒 三山田 貴 36 先鋒 三三尾 村 31 補欠 三尾畑 徳 35 56 大成建設	監督 六本村 吉 賢 44 大将 六本村 吉 賢 44 副将 四大本 吉 44 中堅 二朝大 康 42 次鋒 三奥村 康 30 先鋒 三田邨 卓 25 補欠 三平川 一 28 51 中央三井信託銀行
監督 六大島 正 稔 52 大将 六満井 威 35 副将 四奥田 英 35 中堅 四小田 代 29 次鋒 四青木 圭 25 先鋒 四四畔 上 22 補欠 四四畔 俊 22 57 三菱商事（本店）	監督 五黒岩 誠 47 大将 五黒岩 誠 47 副将 二大河 数 27 中堅 四池田 尚 46 次鋒 二及川 雅 26 先鋒 三鶴間 建 26 補欠 三玉木 亮 42 52 日通商事（本社）
監督 六野村 隆 28 大将 四津田 剛 26 副将 五椎屋 博 30 中堅 四高橋 賢 25 次鋒 四本橋 清 24 先鋒 三伊藤 修 24 補欠 三大山 慎太郎 31 43 日本通運（東京航空）	監督 五森中 英 61 大将 五山中 志 35 副将 四浜井 英 36 中堅 四上松 毅 41 次鋒 四井上 愛 24 先鋒 四大森 泰 26 補欠 三藤本 裕 41 44 サイモテック
監督 六伊藤 隆 57 大将 五藤本 哲 34 副将 五澤田 浩 40 中堅 三秦田 洋 32 次鋒 四塩沢 樹 41 先鋒 四宮島 宏 25 補欠 四廣瀬 信 38 45 みずほ銀行（内幸町）	監督 六伊藤 隆 57 大将 五藤本 哲 34 副将 五澤田 浩 40 中堅 三秦田 洋 32 次鋒 四塩沢 樹 41 先鋒 四宮島 宏 25 補欠 四廣瀬 信 38 46 京浜急行電鉄
監督 五黒岩 誠 47 大将 五黒岩 誠 47 副将 二大河 数 27 中堅 四池田 尚 46 次鋒 二及川 雅 26 先鋒 三鶴間 建 26 補欠 三玉木 亮 42 47 ソニー（厚木）	監督 五黒岩 誠 47 大将 五黒岩 誠 47 副将 二大河 数 27 中堅 四池田 尚 46 次鋒 二及川 雅 26 先鋒 三鶴間 建 26 補欠 三玉木 亮 42 47 ソニー（厚木）

補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四四四四四四 根黒内神野田中 岸澤山山口中 邦文直政 吉雄毅己幸茂茂 25402746424444	98伊勢丹	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 三三三三五五 杉齊松吉米田山 山藤岡野田山 博朋亜徳 幸治希麦仁享享 51382537384747	93千代田化工建設	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 二二三三三三 篠榎辻諸林藤井崎 原智圭寛智邦實 隆幸一郎之宏治 30272832272658	88本田技術研究所 (栃木)
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四四四四四四 樋藤坂戸岩小井 田本部澤原関 貴幸宏理成光 俊一文央記孝学 26252326303242	99望星サイエンス (横浜)	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四四四四四四 西船出竹渡岩榊 山戸口田辺本原 慶隆清和峻高 彦佑児寛彦淳明 25252729233440	94三井住友銀行 (大手町)	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四四四四四四 小高水岩見沼田肥 熊丸野見敬 武仁聖齊介実茂 弘志也斉介実茂 34322826323954	89三井物産
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 三三三三三三 加田小中本安佐藤 藤中林村多田藤 正真勇慎慎秀 和人愛人吾吾和 29192321302940	100綜警常駐警備	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 五三三三三三 森猪田平尚村田 本浦代林樹田田 善零啓勇靖浩一 幸央之人稔浩一 34233347404347	95トッパンフォームズ (日野)	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 三三三三三三 細柳澤見藤藤賀田 井澤見藤藤賀田 孝道雅貴徹悦隆 治範信康久喜男 22323434294361	90森永乳業
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 三三三三三三 前山中若松中中 田口村原本村村 育修浩宏久久 美二郎毅之幸幸 28342934344141	101金子製作所	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 三三三三三三 森竹加重黒石松 本村藤松木井本 敏善哲誠良 史直行俊也哉人 23273228272847	96日本通運(東京)	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四三三三三三 石飯千中薄高 井塚葉村井星窪 久孔健学裕 夫寿亮亮男志寿 29282825223545	91日立電線
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四四四四四四 高有土立山太 岡村原石野田床 真淳茂琢弘憲 也矢揮磨高剛司 24282931353341	102伊藤忠商事	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四四四四四四 中高寺勝山小中 村橋沢木口島山 和一茂隆竜直芳 仁寿樹浩次幸信 40303034383252	97三菱電機(鎌倉)	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 三三三三三三 田佐神矢宮桂井 中藤戸澤垣井 将千信修明康知 玄秋也一英久次 25254032474251	92新日本製鐵(本社)

補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 二四四四四四 勢西伊武鈴鶴玉 ノ牧藤田木田井 克宏誠俊 剛郎満淳治一伊 33353737394052	83NTTドコモ	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四四四四四四 河峯郷伊小毛大塚 野岸田藤澤塚塚 直亮亮和尚進 樹平介彰彦介晋 31242223323335	78大塚家具(横浜)	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 五四四四四四 丸大清水川木林上水 山弘嗣一智宣房 純航昭明成明 33223133373152	73東芝(府中)
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 二四四四四四 谷笹市杉加石大島 川島川本茂原島 太陽祥大照正稔 一輔行清輔門稔 24223124344052	84三菱商事(恵比寿)	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四四三三三三 柳吉仲安瀬細川良 田原篠藤尾川良 哲大正昭昭 大始朗人功治浩豊 35323030414240	79鹿島建設	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 三三三三三三 金岡堺河近小松崎 子本合藤川崎 隆麻紀人峻太郎敬美智昭 広子人峻太郎敬美智昭 29273624333855	74三菱重工(相模原)
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 三三三三三三 西山南丸吉花佐藤 原崎園山野岡藤 拓雅真俊卓勝彦 馬友宏光之郎彦 26242426312833	85セントラル警備 (東京)	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 七四三三三三 小高深遠宮寺小西 西橋田藤田岡西 吉大弘教崇 亮成悟章生之亮 40252424283540	80ジャパンエナジー (本社)	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 五三三三三三 堤北高坂黒谷堤 本橋田木 忠直政卓仁秀忠 嗣道信也志俊嗣 44293125273644	75凸版印刷(本社)
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 五三三三三三 細横松長谷川滑 川山下川藤原川 和純一功次郎英康 義一清宏郎実一 40233338363341	86富士ゼロックス (銀座)	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四四四四四四 西須上太柴勝黒住 野藤野田田岡住 智昌桂論圭二賢 彦紀純桂論圭二賢 29272322303641	81東京電力(千葉)	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四三三三三三 杉安比花片之坂藤 浦藤良田坂藤 康義克浩訓知好豊 二郎和大徳昌好豊 24242323222352	76東レ(三島)
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四四四四四四 高有土立山太 岡村原石野田床 真淳茂琢弘憲 也矢揮磨高剛司 24282931353341	102伊藤忠商事	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四四四四四四 中高寺勝山小中 村橋沢木口島山 和一茂隆竜直芳 仁寿樹浩次幸信 40303034383252	97三菱電機(鎌倉)	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 三三三三三三 田佐神矢宮桂井 中藤戸澤垣井 将千信修明康知 玄秋也一英久次 25254032474251	92新日本製鐵(本社)
補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四四四四四四 高有土立山太 岡村原石野田床 真淳茂琢弘憲 也矢揮磨高剛司 24282931353341	102伊藤忠商事	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 四四四四四四 中高寺勝山小中 村橋沢木口島山 和一茂隆竜直芳 仁寿樹浩次幸信 40303034383252	97三菱電機(鎌倉)	補欠 先鋒 次鋒 中堅 副将 大将 監督 三三三三三三 田佐神矢宮桂井 中藤戸澤垣井 将千信修明康知 玄秋也一英久次 25254032474251	92新日本製鐵(本社)

118 ニ チ ベ イ（本社）	監督 七 荻 津 太 41 大將 四 樋 口 史 朗 31 副將 五 永 松 武 徳 24 中堅 四 田 中 敦 30 次鋒 四 麻 生 賢 一 24 先鋒 四 鈴 木 秀 卓 30 補欠 五 浅 川 秀 行 39	123 伊田テクノス（東京）	監督 七 富 田 浩 52 大將 七 檜 崎 亘 37 副將 六 加 藤 明 男 40 中堅 六 栗 原 剛 38 次鋒 五 三 宅 秀 明 31 先鋒 五 鈴 木 宏 和 30 補欠 七 富 田 浩 52	128 シ オ ザ ワ	監督 五 塩 澤 好 久 45 大將 六 神 田 四 郎 35 副將 四 黒 澤 泰 裕 30 中堅 五 秋 田 利 通 30 次鋒 四 菊 森 由 真 29 先鋒 四 平 原 修 25 補欠 四 佐 久 間 学 24
119 三 菱 商 事（品川）	監督 六 大 島 正 稔 52 大將 五 森 川 博 昭 40 副將 六 田 中 孝 和 39 中堅 四 井 上 亮 29 次鋒 四 永 田 慎 次 郎 26 先鋒 四 名 田 賢 悟 24 補欠 四 松 崎 文 吾 28	124 三井住友海上（新宿）	監督 六 渡 邊 三 明 39 大將 四 原 田 智 也 35 副將 六 木 下 一 成 35 中堅 五 和 住 賢 一 36 次鋒 四 清 水 基 隆 26 先鋒 三 伊 藤 康 高 25 補欠 四 石 澤 智 38	129 パナソニック・フアクトリー ソリユーションズ（甲府）	監督 七 渋谷 谷 典 夫 59 大將 七 栗 林 毅 50 副將 六 岩 元 純 新 42 中堅 五 望 月 元 也 35 次鋒 三 石 津 博 史 25 先鋒 五 竹 下 貴 雄 32 補欠 六 東 郷 博 志 52
120 日 本 ー B M（本社）	監督 六 岡 崎 高 41 大將 五 中 嶋 剛 28 副將 五 宮 本 勇 司 29 中堅 五 林 本 武 志 35 次鋒 四 原 口 光 平 34 先鋒 五 山 田 浩 二 31 補欠 四 根 路 銘 崇 37	125 野村総合研究所	監督 六 徳 地 隆 弘 48 大將 五 山 内 英 世 39 副將 四 森 本 武 志 38 中堅 四 畑 田 寛 久 28 次鋒 四 戸 舘 善 保 27 先鋒 四 松 本 隆 志 25 補欠 三 堀 口 真 吾 26	130 ソ ニ ー （本社）	監督 六 中 山 久 夫 59 大將 七 田 中 靖 彦 42 副將 六 宮 田 一 智 41 中堅 六 鍋 迫 英 輝 35 次鋒 六 田 栗 康 徳 38 先鋒 四 長 江 劍 一郎 33 補欠 五 竹 内 賢 二 44
121 N T T 東 日 本（本社）	監督 七 高 井 田 誠 41 大將 六 山 本 有 樹 32 副將 六 梅 山 義 隆 32 中堅 四 中 澤 圭 介 25 次鋒 五 岡 本 晋 輔 28 先鋒 四 国 本 隆 寛 27 補欠 三 大 貫 清 人 22	126 浅 田 新（関東）	監督 四 小 野 邦 義 59 大將 六 鎌 田 明 彦 50 副將 六 上 野 敦 42 中堅 五 柏 木 誠 士 35 次鋒 四 百 瀬 雄 一 郎 40 先鋒 四 岡 村 幸 司 朗 23 補欠 三 細 見 英 幸 35	131 兼 松	監督 三 関 勝 一 43 大將 六 小 松 崎 行 雄 43 副將 六 森 信 啓 太 38 中堅 四 田 中 公 康 39 次鋒 三 岩 瀬 裕 紀 33 先鋒 五 後 藤 伸 一 37 補欠 四 加 賀 尾 亮 37
122 富 士 ゼ ロ ッ ク ス 東 京 （新宿）	監督 五 大 岡 正 芳 38 大將 四 小 澤 哲 也 27 副將 四 北 村 光 24 中堅 四 榎 本 浩 章 28 次鋒 四 鈴 木 幸 大 24 先鋒 四 齊 藤 徹 24 補欠 四 早 野 慎 太 朗 24	127 ジャパンエナジー （戸田）	監督 六 末 松 眞 人 58 大將 五 平 野 亨 44 副將 三 戸 来 正 孝 46 中堅 五 古 田 智 史 38 次鋒 四 脇 田 光 明 40 先鋒 五 小 野 洋 輔 37 補欠 六 末 光 眞 人 58	132 キ リ ン（本社）	監督 六 新 開 寛 51 大將 三 吉 永 啓 佑 30 副將 四 山 本 規 史 26 中堅 四 黒 川 恵 介 24 次鋒 四 小 田 部 将 26 先鋒 四 作 下 隆 明 23 補欠 四 野 澤 力 29

監督 七 高 崎 健 二 41 大將 五 小 野 澤 豊 33 副將 四 谷 口 晶 英 32 中堅 六 欄 津 陽 彦 46 次鋒 五 加 藤 興 貴 37 先鋒 五 加 藤 庄 悟 32 補欠 五 高 崎 健 二 41	113 シ モ ン(東京)	監督 七 泉 澤 清 次 50 大將 五 実 藤 隆 56 副將 四 宮 本 豊 33 中堅 二 鈴 木 俊 介 31 次鋒 四 廣 瀬 智 之 31 先鋒 四 中 野 瀬 賢 正 31 補欠 三 伊 藤 貴 徳 27	108 三 菱 重 工(本社)	監督 七 川 崎 恒 雄 57 大將 六 小 田 口 享 弘 33 副將 六 立 見 顕 久 35 中堅 六 宮 本 貴 之 38 次鋒 五 外 之内 貴 洋 30 先鋒 五 高 村 泰 央 26 補欠 三 矢 代 俊 介 29	103 三井住友海上(本店)
監督 七 大 山 孝 治 42 大將 七 大 山 孝 治 42 副將 四 安 積 育 博 23 中堅 四 近 森 洋 平 23 次鋒 三 荒 井 正 嗣 22 先鋒 四 奈 須 政 治 23 補欠 五 吉 井 政 透 38	114 ト ッ パ ン フ ォ ー ム ズ (本社)	監督 六 高 田 将 之 54 大將 四 西 村 太 一 37 副將 三 井 澤 宏 允 29 中堅 五 仙 波 希 与 志 33 次鋒 四 榎 本 光 宏 31 先鋒 三 富士 川 光 亘 29 補欠 七 伏 見 浩 一 49	109 D I C	監督 五 鈴 木 俊 幸 40 大將 四 工 藤 勇 樹 29 副將 五 佐 伯 辰 廷 31 中堅 五 澤 野 巧 樹 28 次鋒 三 井 上 野 総 一郎 29 先鋒 五 川 上 正 彦 30 補欠 三 牧 之 瀬 宗 久 38	104 東芝テックビジネス ソリューション(本社)
監督 七 安 西 学 41 大將 五 吉 澤 裕 明 35 副將 四 岩 崎 悠 31 中堅 三 高 橋 英 佑 27 次鋒 三 滝 口 将 一 25 先鋒 四 土 岐 俊 祐 25 補欠 三 中 山 大 輔 20	115 東 京 電 力(栃木)	監督 七 礪 崎 正 見 54 大將 四 向 井 淳 30 副將 二 寺 内 直 樹 24 中堅 三 木 本 大 介 26 次鋒 三 亀 山 智 明 25 先鋒 三 清 水 智 也 23 補欠 初 徳 丸 拓 児 22	110 新 菱 冷 熱 工 業	監督 四 神 山 忠 央 50 大將 三 淡 路 陽 介 28 副將 五 水 村 友 一 郎 33 中堅 四 前 沢 一 忠 成 26 次鋒 四 豆 田 沢 忠 補 23 先鋒 四 根 本 拓 郎 28 補欠 四 北 澤 太 朗 38	105 電 通
監督 三 坂ノ下 忍 42 大將 六 金 谷 篤 実 42 副將 三 高 橋 祐 一 36 中堅 六 江 口 大 二 郎 37 次鋒 三 杉 本 健 祥 36 先鋒 二 山 下 雅 史 25 補欠 四 園 田 康 詞 20	116 三 井 不 動 産	監督 五 了 戒 明 宏 47 大將 五 紺 野 剛 26 副將 五 江 田 公 則 29 中堅 五 太 田 武 志 29 次鋒 三 高 須 秀 隆 24 先鋒 四 梯 須 達 斎 23 補欠 四 花 田 雅 也 30	111 日 本 通 運(本社)	監督 七 若 松 清 孝 56 大將 六 宮 川 健 35 副將 四 土 方 洋 一 42 中堅 四 添 田 綱 一 34 次鋒 三 亀 山 昌 幸 30 先鋒 三 下 田 哲 史 28 補欠 二 池 永 佳 史 31	106 日 本 無 線
監督 六 小 高 栄 57 大將 五 峰 岸 英 貴 32 副將 三 高 田 剛 美 40 中堅 三 吉 田 康 司 30 次鋒 二 濱 畑 祐 子 22 先鋒 三 染 谷 め ぐ み 21 補欠 四 大 山 健 児 57	117 S M C	監督 四 尾 方 司 郎 41 大將 四 二階 堂 正 寿 39 副將 四 角 田 一 真 34 中堅 四 浅 田 健 二 34 次鋒 四 永 洞 勝 也 34 先鋒 五 遠 藤 勝 智 39 補欠 四 尾 方 司 郎 41	112 カミナガ販売(本社)	監督 六 鹿 志 村 聡 士 41 大將 六 鹿 志 村 聡 士 41 副將 四 羽 賀 大 介 39 中堅 三 江 口 信 之 38 次鋒 二 安 齋 広 明 28 先鋒 二 根 里 保 宏 23 補欠 三 根 里 保 宏 23	107 損 保 ジャパン (東京中央)

監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 坂本 日佳 晋典 尚平 亮希 優太 浩大 29 24 29 24 35 35 60	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 仲田 岡田 野本 藤本 内藤 角田 甘利 24 30 25 24 27 22 35	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 東日本リテール ネット (本社)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 板垣 中井 大須賀 板垣 尾形 澁谷 小田切 35 23 26 38 28 32 38	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 博 報 堂
監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 河野 岡野 橋岡 高吉 笠高 酒三 五相 45 36 38 38 38 39 52	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 加村 北村 武井 英加 金崎 渡部 六吉 36 35 28 38 28 34 38	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 東 レ (本社)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 宇都宮 キャノン	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 149 三井化学 (市原)
監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 谷村 上下 裕弘 英和 裕英 代崎 三森 22 39 32 25 33 22 39	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 三井住友銀行 (中野)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 155 三井住友銀行 (中野)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 NTT東日本 (東京)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 150 日通商事 (東京)
監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 岩本 尾本 松尾 並松 白熊 四松 四三 25 23 24 27 30 32 35	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 グローリー (埼玉)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 156 グローリー (埼玉)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 望星サイエンス (本社)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 151 三菱地所
監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 木村 小野寺 大秀 健大 梅谷 四雨 五辻 28 23 27 25 24 25 50	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 157 NIPOPO	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 みずほ銀行 (大手町)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 162 JR東日本 (本社)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 152 みずほ銀行 (大手町)

監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 柳山 上野 菊池 三枝 草枝 四若 三服 26 25 22 24 21 24 39	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 143 ベアハグ (本店)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 安井 七井 里井 平山 五本 五福 五濱 43 33 35 29 37 37 52	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 138 松下電工 (東京本社)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 凸版印刷 (情報・出版)
監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 池田 丸山 信田 四岸 三倉 三小 三伊豆 28 20 23 25 26 39 55	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 144 日立製作所 (佐和)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 139 日本航空	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 134 富士通	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 133 凸版印刷 (情報・出版)
監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 根田 石井 高峰 四秋 五宮 四岡 四溝 27 23 25 25 30 26 65	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 145 東京かに道楽 (渋谷)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 140 双日	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 135 日産ディーゼル	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 143 凸版印刷 (情報・出版)
監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 正太 嘉啓 正嘉 白久保 三深 四伊 三三 20 21 22 24 24 26 24	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 146 三千和商工 (本社)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 141 富士ゼロックス (本社)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 136 総合警備 (西東京)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 137 ミッツボシ
監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 土谷 角谷 五相 五浅 四佐 五内 五佐 40 32 33 29 37 32 47	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 147 NEC (本社)	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 142 秋田銀行	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 142 秋田銀行	監督 大将 副将 中堅 次鋒 先鋒 補欠 137 ミッツボシ

監督 六金折基治 44 大将 三川岸太輔 28 副将 二北田真悟 25 中堅 四渡辺知行 30 次鋒 四羽鳥智雄 29 先鋒 四平山信彦 29 補欠 三森一貴 35	188 三菱東京UFJ銀行 (本店)	監督 六榎戸一郎 39 大将 五西島康博 36 副将 三高橋由臣 32 中堅 五門川千尋 36 次鋒 三関川健史 21 先鋒 三丸山佳太 19 補欠 三山田有喜 36	183 東京ガス(神奈川)	監督 五小野英信 36 大将 五小野英信 36 副将 二真鍋英信 36 中堅 三門前芳一 27 次鋒 三五十嵐一 38 先鋒 三鈴木雅利 25 補欠 三坏木宏太 22	178 日鉱金属(日立)
監督 五角田信雄 52 大将 七高田彦雄 46 副将 三伊藤隆史 40 中堅 四澤藤孝広 37 次鋒 三平岡徳靖 34 先鋒 三榎戸政樹 30 補欠 五角田信雄 52	189 日本運搬社	監督 六内山靖夫 45 大将 五栗野宗高 34 副将 五加藤健 34 中堅 四藤井優明 32 次鋒 三近藤隆史 33 先鋒 三瀬川怜史 25 補欠 二元山川裕司 36	184 オリックス	監督 四吉田宏二 42 大将 四中村英二 30 副将 四井上博由 32 中堅 四新井学 28 次鋒 二上村徹郎 23 先鋒 五古田雅裕 26 補欠 四吉田宏二 42	179 住友商事
監督 六兄玉清修 44 大将 七小見林哉 39 副将 六有馬俊之 40 中堅 三山田拓郎 25 次鋒 六村田和昭 36 先鋒 三霜鳥卓視 24 補欠 三酒井英二 33	190 大光銀行	監督 六中尾剛之 42 大将 五野口淳司 33 副将 五八木俊之 32 中堅 四高木タニエル 27 次鋒 四下内雄介 24 先鋒 六青沼裕之 23 補欠 六青沼達雄 39	185 富士ゼロックス(港)	監督 五露口泰介 48 大将 六宮崎誠治 35 副将 四磯浩一郎 31 中堅 四宮原良太 23 次鋒 四中里恭彰 27 先鋒 四佐藤宜人 26 補欠 四浜地雄亮 31	180 東京海上日動(本店)
監督 六西元久和 34 大将 四見市久豊 27 副将 五吉田健二 29 中堅 四佐藤隆史 25 次鋒 四山根啓嗣 33 先鋒 四山邊博嗣 26 補欠 四宮司浩平 25	191 日通商事(LS)	監督 六佐藤正弘 40 大将 五田中博元 37 副将 三志賀康浩 23 中堅 四平林佑太 26 次鋒 三大大圭一郎 23 先鋒 四奈山道臣 30 補欠 三奈山明久 32	186 リコー	監督 五出沼博 39 大将 四持田理博 28 副将 四綱嶋宜人 23 中堅 四太田孝人 27 次鋒 四大木直樹 28 先鋒 三森口一徳 24 補欠 四平松規正 28	181 富士ゼロックス東京(城西)
監督 四柴田良紀 39 大将 五青木淳平 35 副将 五荒木伸康 36 中堅 四田政俊 27 次鋒 三田辺暢康 26 先鋒 三東山義博 28 補欠 五河野義博 30	192 丸紅	監督 六中道秀俊 50 大将 六山中慎夫 45 副将 四住澤俊也 25 中堅 六相座明俊 53 次鋒 三小荒木稔 40 先鋒 三小高晃 26 補欠 六狩野辰雄 55	187 日本航空電子工業	監督 七波多野一利 52 大将 六新名修一 39 副将 三松尾俊哉 24 中堅 五神崎力 30 次鋒 四片之坂和洋 24 先鋒 五平田大輔 32 補欠 五楠木勇滋 42	182 あどQ

監督 五石飛直人 36 大将 五石飛直人 36 副将 三菅飛真樹 30 中堅 三三井健介 27 次鋒 四鉄橋英明 27 先鋒 三堤祐一郎 23 補欠 四石野隆行 32	173 パンソフイタックス	監督 四益子雅之 61 大将 五庄司健一 36 副将 四原信幸 37 中堅 二森謙二 32 次鋒 三川瀬賢紀 37 先鋒 二石神健二 27 補欠 二齋藤陽介 26	168 N E C (玉川)	163 セントラル警備 (本社)
監督 四石光健吾 38 大将 四石光健吾 38 副将 二後藤慶和 30 中堅 三朝倉智子 43 次鋒 無杉本康一郎 26 先鋒 三福地有雄 29 補欠 三福地有雄 29	174 本田技術研究所 (埼玉)	監督 五縄田浩 45 大将 三工藤真温 29 副将 三小林桂介 30 中堅 三鈴木宏昌 39 次鋒 三大住翔太 25 先鋒 五縄田浩 45 補欠 五縄田浩 45	169 日揮	164 戸田建設
監督 五荒川清彦 52 大将 五今井浩之 44 副将 五澤海一修 40 中堅 四大田健二 37 次鋒 三鈴木晴久 32 先鋒 五小松井宏之 45 補欠 七小松井宏之 45	175 日立製作所 (大みか)	監督 六岡崎高 41 大将 五櫻木武人 48 副将 五奈良清隆 46 中堅 六斉藤弘 40 次鋒 五坂詰武昌 43 先鋒 五中村武史 38 補欠 二木下剛夫 36	170 日本IBM (大和)	165 伊田テクノス (さいたま)
監督 七平良直人 50 大将 四東村篤樹 42 副将 三内藤大輔 38 中堅 五山本英樹 34 次鋒 三中山井俊貴 32 先鋒 三鈴木幸太郎 25 補欠 二木村彰宏 28	176 日本興亜損害保険	監督 六照井伸靖一 41 大将 五高野伸一 35 副将 四萱沼秀紀 35 中堅 五吉井久光 34 次鋒 三石井勇一 35 先鋒 四高木元綱 30 補欠 五高木元綱 33	171 千歳商会	166 三菱東京UFJ銀行 (丸の内)
監督 五堀内正人 48 大将 五井上哲也 46 副将 五堀内正人 48 中堅 五落合正勝 49 次鋒 三稲森稔彦 37 先鋒 三櫻井克政 33 補欠 五佐々木秀一 58	177 東京日野自動車	監督 七重田信昭 51 大将 五佐藤竜太郎 44 副将 六堀口竜史 36 中堅 六山中慎司 40 次鋒 四小林信太郎 28 先鋒 四内田智史 27 補欠 四秋葉浩二郎 27	172 新日本製鐵 (君津)	167 東武鉄道

過ぎし日の輝かしい戦績

回数	開催日	優勝	2位	3位	会場	参加数
第1回	昭和34年6月7日	東横百貨店	朝日生命	古河鉦業 平和相互銀行	東京後楽園 ジムナジウム	44
第2回	昭和35年7月3日	東横百貨店	シモン皮革	日本通運 日立製作所(日立)	東京後楽園 ジムナジウム	66
第3回	昭和36年7月2日	東横百貨店	日本通運(本社)	日本鉦業 朝日生命(研修所)	日大講堂	76
第4回	昭和37年6月17日	朝日生命(研修所)	東横百貨店	シモン皮革 平和相互銀行	日大講堂	70
第5回	昭和38年6月30日	シモン(本社)	朝日生命(研修所)	日立電線 講談社	日大講堂	82
第6回	昭和39年7月5日	平和相互銀行(巣鴨)	シモン(板橋)	東洋レーヨン(本店) 日本通運(関東航空)	日大講堂	87
第7回	昭和40年7月11日	平和相互銀行(巣鴨)	日本軽金属	東洋レーヨン(三島) 鹿島建設	日本武道館	82
第8回	昭和41年7月10日	平和相互銀行(巣鴨)	日立電線	日本軽金属 日本通運(本社)	日本武道館	88
第9回	昭和42年7月9日	シモン(本社)	東洋レーヨン(三島)	千代田化工建設(本社) 三菱化成(本社)	日本武道館	96
第10回	昭和43年8月11日	日本通運(本社)	シモン(本社)	朝日生命(本社) 東洋水産	日本武道館	108
第11回	昭和44年8月17日	東洋レーヨン(三島)	トッパンムーア(本社)	日本通運(本社) 凸版印刷(板橋)	日本武道館	107
第12回	昭和45年8月16日	トッパンムーア(日野)	トッパンムーア(本社)	千代田化工建設(本社) 日本通運(本社)	日本武道館	116
第13回	昭和46年8月22日	東レ(三島)	平和相互銀行(巣鴨)	東洋水産 住友海上火災	日本武道館	128
第14回	昭和47年7月23日	トッパンムーア(本社)	シモン(本社)	トッパンムーア(福生) 凸版印刷(板橋)	日大講堂	128
第15回	昭和48年8月26日	東洋水産(本社)	平和相互銀行(巣鴨)	朝日生命(本社) 東レ(三島)	日大講堂	128
第16回	昭和49年8月11日	平和相互銀行(巣鴨)	東洋水産(本社)	住友海上火災(本店) 日本通運(本社)	日大講堂	128
第17回	昭和50年7月27日	日本通運(本社)	平和相互銀行(巣鴨)	シモン(本社) 住友海上火災(本店)	日大講堂	140
第18回	昭和51年7月18日	三菱商事	平和相互銀行(巣鴨)	住友海上火災(本店) 朝日生命(新宿)	日本武道館	144
第19回	昭和52年6月26日	東洋水産(本社)	三菱商事	トッパンムーア(本社) 凸版印刷(板橋)	日本武道館	148
第20回	昭和53年7月23日	東洋水産(本社)	化成工業	平和相互銀行(本社) 三菱商事	日本武道館	152
第21回	昭和54年7月1日	シモン(本社)	東洋水産(本社)	住友海上火災(本店) 日本通運(東京航空)	日本武道館	158
第22回	昭和55年6月15日	平和相互銀行(巣鴨)	日本通運(本社)	シモン(本社) 浜松トッパンムーア	日本武道館	166
第23回	昭和56年6月28日	朝日生命(本社)	日本通運(本社)	凸版印刷(板橋) 東洋水産(本社)	日本武道館	170
第24回	昭和57年4月17日	日本通運(関東)	カミナガ販売	日通商事 トッパンムーア(日野)	日本武道館	172
第25回	昭和58年6月19日	三菱商事	朝日生命(本社)	トッパンムーア(本社) 化成工業	日本武道館	180

監督 大將 六四 副将 堅四 中堅 三三 次鋒 三小 先鋒 五菊 補欠 池林	203 キリン(首都圏)	監督 大將 六四 副将 堅四 中堅 三三 次鋒 三小 先鋒 五菊 補欠 池林	198 東京システム運輸(埼玉)	監督 大將 七五 副将 堅四 中堅 三三 次鋒 三小 先鋒 五菊 補欠 鈴木	193 ヤマハ
監督 大將 六四 副将 堅四 中堅 三三 次鋒 三小 先鋒 五菊 補欠 紀泰	204 大塚家具(本社)	監督 大將 六四 副将 堅四 中堅 三三 次鋒 三小 先鋒 五菊 補欠 中世古	199 三菱重工(横浜)	監督 大將 六五 副将 堅四 中堅 三三 次鋒 三小 先鋒 七阿	194 東京電力(群馬)
監督 大將 五五 副将 堅四 中堅 三三 次鋒 三小 先鋒 五中 補欠 古澤	205 富士フイルム(東京本社)	監督 大將 五五 副将 堅四 中堅 三三 次鋒 三小 先鋒 五首 補欠 藤部	200 朝日生命	監督 大將 六六 副将 堅四 中堅 三三 次鋒 三小 先鋒 五中 補欠 藤田	195 NTT
監督 大將 五五 副将 堅四 中堅 三三 次鋒 三小 先鋒 五首 補欠 藤部	206 住友不動産販売	監督 大將 五五 副将 堅四 中堅 三三 次鋒 三小 先鋒 五首 補欠 藤部	201 綜合警備(東京)	監督 大將 七三 副将 堅二 中堅 三三 次鋒 三小 先鋒 五三 補欠 宇井	196 エーザイ
監督 大將 七五 副将 堅五 中堅 四四 次鋒 三三 先鋒 四四 補欠 六川	207 東洋水産(本社)	監督 大將 七五 副将 堅五 中堅 四四 次鋒 三三 先鋒 四四 補欠 六川	202 三井住友銀行(本店)	監督 大將 五五 副将 堅六 中堅 四四 次鋒 三三 先鋒 五五 補欠 二岡	197 凸版印刷(朝霞)

回数	開催日	優勝	2位	3位	会場	参加数
第26回	昭和59年6月10日	東洋水産(本社)	日本通運(本社)	トッパンムーア(日野) 浜松トッパンムーア(浜松)	日本武道館	174
第27回	昭和60年6月9日	平和相互銀行(巣鴨)	そごう(東京)	シモン(東京) 日本通運(本社)	日本武道館	182
第28回	昭和61年6月8日	シモン(本社)	住友海上火災(本店)	カミナガ販売(本社) 三菱商事	日本武道館	186
第29回	昭和62年6月7日	日本通運(本社)	シモン(本社)	住友銀行(東京) トッパンムーア(日野)	日本武道館	186
第30回	昭和63年6月12日	富士ゼロックス(本社)	東洋水産(本社)	カミナガ販売(本社) シモン(本社)	日本武道館	192
第31回	平成元年6月11日	日本電信電話(東京)	東洋水産(品川)	住友銀行(本店) 大日本インキ化学	日本武道館	186
第32回	平成2年6月10日	住友海上火災(本店)	日本電信電話(東京)	カミナガ販売(本社) 富士ゼロックス(本社)	日本武道館	200
第33回	平成3年6月9日	富士ゼロックス(本社)	住友海上火災(本店)	東洋水産(本店) 日本電信電話(関東)	日本武道館	216
第34回	平成4年6月14日	日本電信電話(東京)	凸版印刷(板橋)	住友海上火災(本店) 富士ゼロックス(銀座)	日本武道館	222
第35回	平成5年6月13日	住友海上火災(本店)	東洋水産(本社)	富士ゼロックス(本社) 三千和商工(本社)	日本武道館	230
第36回	平成6年6月12日	住友海上火災(本店)	N T T(東京)	伊田テクノス(本社) 富士ゼロックス(本社)	日本武道館	236
第37回	平成7年6月11日	住友海上火災(本店)	住友海上火災(神田)	日本通運(東京航空) 富士ゼロックス(本社)	日本武道館	236
第38回	平成8年6月9日	住友海上火災(本店)	カミナガ販売(本社)	カミナガ販売(工場) 総合警備(神奈川)	日本武道館	232
第39回	平成9年6月8日	伊田テクノス(本社)	総合警備(東京)	N T T(東京) 住友海上火災(神田)	日本武道館	253
第40回	平成10年6月7日	住友海上火災(本店)	伊田テクノス(本社)	住友海上火災(神田) 東日本キョスク(本社)	日本武道館	249
第41回	平成11年6月6日	N T T(東京)	総合警備(東京)	大光銀行 フットワーク(東京)	日本武道館	234
第42回	平成12年6月4日	カミナガ販売(本社)	N T T東日本(東京)	住友海上火災(神田) 東京ゼロックス(本社)	日本武道館	220
第43回	平成13年6月3日	総合警備(東京)	富士ゼロックス(本社)	東日本キョスク(本社) 東洋水産(本社)	日本武道館	210
第44回	平成14年6月16日	三井住友海上(本店)	富士ゼロックス(本社)	三千和商工(本社) ニチベイ	日本武道館	210
第45回	平成15年6月8日	富士ゼロックス(本社)	N T T東日本(東京)	東洋水産(本社) 日本通運(本社)	日本武道館	198
第46回	平成16年6月6日	富士ゼロックス(本社)	N T T東日本(東京)	望星サイエンス(本社) J R 東日本	日本武道館	193
第47回	平成17年6月5日	富士ゼロックス(本社)	富士ゼロックス(港)	望星サイエンス(本社) 日本通運(本社)	日本武道館	195
第48回	平成18年6月4日	N T T東日本(本社)	東京電力(本店)	日通商事(本社) 日通商事(東京)	日本武道館	199
第49回	平成19年6月3日	伊田テクノス(本社)	東洋水産(本社)	東芝テックビジネスソリューション(本社) 三井住友海上(本店)	日本武道館	197
第50回	平成20年6月10日				日本武道館	207

「関東実業団剣道連盟の沿革」

1、関東実業団剣道連盟設立の経緯

全日本実業団剣道連盟が発足した翌年の昭和33年9月に、全日本実業団剣道連盟の役員が中心となって全日本実業団剣道連盟の下部組織として「関東実業団剣道連盟」を発足させ、同時に規約も制定された。

初代会長には、三菱地所(株)副社長の宮田正男氏を推戴。連盟の運営並びに剣道大会の開催などについては、全日本実業団剣道連盟の決定に準じて実施することにした。

会員の中には関東実業団剣道連盟だけに加盟を希望する者や全日本実業団剣道連盟だけに籍を置きたいというものもあり、平成9年5月に全日本実業団剣道連盟の理事会並びに会員総会に於て全日本実業団剣道連盟の下部組織を解除する旨の決議が行なわれ、規約第5条も「本連盟の会員は関東地区に住所を有する全日本実業団剣道連盟の加盟団体であることを要する」の条文を「本連盟の会員は関東地区に住所を有する企業又は企業の事務所に属する剣道部とする」と改定され、名実共に独立した関東実業団剣道連盟として現在に至っている。

2、剣道大会の推移

第1回剣道大会を昭和34年6月7日に44チームの参加を得て東京

後楽園ジムナジウムで開催し、関東実業団剣道連盟としての第1歩を踏み出した。年を重ねるごとに大会参加数が増え平成9年6月8日開催の第39回大会には253チームが参加した。この大会を境に実業界を取り巻く経済環境が厳しくなり、リストラや企業の統廃合等の影響により大会参加数は減少傾向を辿り、平成16年の第46回大会には193チームとなった。幸いに今回の第50回大会には207チームが参加され、連盟創設50周年に相応しい記念大会を開催出来たことは誠に喜ばしい次第である。

3、改善・変更事項

(1)試合時間の変更

従来、試合時間は1回戦から決勝戦まで4分間であったが、平成7年の第37回大会から、1回戦から準々決勝までは3分間、準決勝・決勝戦は4分間と変更した。

(2)審判員数の変更

従来、実業団剣道大会では、1回戦から準々決勝まで2人制によって試合が行なわれていたが、出場選手の試合レベルが年々向上し勝敗も紙一重のところが決まる。所謂、群雄割拠の時代に入ったことを考慮して平成9年6月8日の第39回大会から全試合3人制に移行し、より公平な判定と試合時間の短縮を図り円滑な運営を行なうことにした。

第18回大会 挨拶文 昭和51年7月18日



第3代 会長 規氏
林 菱樹脂(株) 社長
昭和50年7月～58年6月

あります。

剣道はひとり我國のみならず、世界の剣道として伸長して居りますことは、正に古来先哲が精進を積み重ねられた民族の資産としての特性が認識されたことにほかならず、私も剣道を学ぶ一人として誠に欣快とするところであります。われわれ実業人をとりまく環境は最近ようやく好転しつゝ、あると云われておりますが、いわゆる高度経済成長時代の再来はあるべきとは思われず新しい経済の形の中の対応が求められつゝ、あると申せましょう。

かゝる意味から、剣道人としての精進を重ね、さらに実業人として錬磨された皆様に参加されるこの大会が、新しい時代をになう基盤の象徴として果たす役割はまことに大きなものと信じます。
実業人としての連帯のもとに日頃研鑽された成果を充分に発揮され、立派な試合を展開されることを期待して止みません。
終りにのぞみ本大会役員をはじめ、関係各位ならびに絶大なるご支援ご協力を賜りました各方面のご厚志に対し、心よりお礼を申し上げます。挨拶といたします。

第26回大会 挨拶文 昭和59年6月10日



第4代 会長 陽信氏
佐々木 鋲業(株) 会長
昭和58年6月～平成元年8月

環境のもと実業界の各分野にあつて、職務に精励されとともに、平素から剣の道にたゆまぬ精進を続けておられる方々であります。それぞれの職場によつて日頃の稽古に質量の相違はありましようが、何れも等しく剣道を愛し、剣道の修行によつて心身を錬磨し、実業人としてまた社会人としての大成を志しておられるのであります。

本大会は実業界という同じ立場にあつて同じ道を志す者が相集う折角の機会であります。どうか、普段の研鑽の成果を十二分に発揮し、正々堂々の剣心剣技を披露されとともに、相互の親睦交流をはかり、剣縁を一層深められるよう希つてやみません。
終わりに本大会開催に当り絶大な御支援御協力を賜りました各方面の御厚志ならびに大会役員はじめ関係各位の御尽力に心から御礼を申し上げます。ごあいさつといたします。

【歴代会長の就任第1回目の大会プログラムに掲載された挨拶文を再録し、実業団剣道の経過と時代の変遷に剣道人としてどう対応するかを示唆している事実を確かめ、実業団剣道のさらなる発展の糧としたい。どうぞ高覧下さい。】

第3回大会 挨拶文 昭和36年7月2日



初代 会長 正男氏
宮田 菱地所(株) 副社長
昭和33年12月～38年6月

本日茲に本連盟が第三回関東大会を催すに当り、各方面の来賓各位の御臨席を賜わり、近県各地より多数の熱心なる会員諸君の御参加を得て、かくの如く盛大に挙行することを得ましたことに對し皆様の御厚情と御支援とを厚く御礼申し上げます。
連盟発足以来既に三年……第一回の参加が44チーム、第二回が66チーム、今回は更に増加して73チームの精鋭が一堂に会してこの大会の幕をあける次第であります。これは偏に各方面における剣道愛好者諸氏の御援助のたまものであります。衷心より感謝致す次第であります。幸にして漸やく剣道復活のきざし著しいものがあります時、社会の中心を担う実業人の間に、一人でも多くの同好者を増加することこそ連盟の念願であり、会員各人の責任であるとも考えます。

どうぞ憂慮に堪えない昨今の世情：ただ自らの楽しみリクレーションということのみにとどまらず、よく天下国家の爲にもこの道を広めることに努力されんことを切望致します。
毎年一回の関東大会、又、秋の全国大会こそ、日頃は各地に散在する同志が一堂に会して友好を固め、平素修練の精を示しあうと共に、又明日の爲に一段の英気の充実をはかる貴重な機会であります。
どうか本日の大会も日頃錬磨の妙を遺憾なく発揮せられ、勝つことも、負けることも凡てが勉強で修養であることを、身を以て如実に示されんことを期待いたします。

終りに臨み、当大会開催に際し特に御高配を賜りました各方面の有力な御後援に對し連盟を代表して深甚なる謝意を表します。
又朝日新聞社及び全日本剣道連盟におかれましても前回に引き続き特別なる御援助を下さいましたことに對し厚く御礼申上げる次第であります。
どうぞこの一日、当館一杯に気品あり、秩序ある実業人剣道の精華が華々しく展開されることを期待してご挨拶と致します。

昭和34年6月7日開催の第1回と第2回大会プログラム紛失のため第3回目の大会会長挨拶文を掲載しました

第6回大会 挨拶文 昭和39年7月5日



第2代 会長 幾久男氏
安田 輕金屬(株) 社長
昭和38年6月～50年7月

本日ここに第六回関東実業団剣道大会を開催するにあたり、関係各位の多数ご参列をいただき、かくも盛大に行なうことができましたことは、誠に欣ばしくご同慶の至りに存じます。
昭和三十四年第一回大会が44団体参加のもとに挙行されて以来、回を重ねるごとに参加団体の増加をみ、年々興隆の一途を辿っておりますことは、参加団体各位のたゆまざる研鑽努力と関係各位のご熱意の賜ものと厚く御礼申し上げます。
かくの如く剣道が広く人々に愛好され、着々と基盤を拡充し、とりわけわが国経済発展を担う実業界に滲透してまいりましたことはまことに心強いものがございます。

いまさら申し上げるまでもなく剣道は、心、技、体、一致の武道として、わが国のながい歴史と伝統に培われた民族的な遺産でありまして、今日におきましても数あるスポーツのうち人格の淘汰と形成にとつてこれに優るものがないと確信致します。

またそれだけに技を磨くことは心身両面での研鑽を一つ一つ積み重ねてゆくことが肝要であり、これによって始めて剣道の基本精神とも申すべき明鏡止水の心境をきり開くことができるものと信じます。

私どもは皆様方がたえずこのような剣道の真髓の修得に心掛けられるよう希望いたしますとともに、日本人の民族性に根ざす剣道がより多くの人々になじまれ、人づくりに多大な貢献をなすものと確信すると共にこれを私どもの責務と感ずる次第でございます。

本大会は、剣道の精髓を示す場であり、皆様方が常日頃剣の道にいそしみ培つてこられました心と技とをあますところなく発揮され、本大会が盛會裡に終了することを期待して止みません。

最後に本大会開催に際しまして格別のご配慮ご後援をいただきました朝日新聞社、全日本剣道連盟、ならびに全日本実業団剣道連盟に對しまして感謝の意を表しご挨拶といたします。



第7代 会長 氏
鬼澤 正
三井建設(株) 会長
平成8年9月～現在に至る

より二十一チームも多い二百五十三チームの参加を得て、盛大に大会を開催することが出来ました。これ偏に、関係各社と先輩各位のご理解とご協力の賜と、深く感謝申し上げます。

バブル崩壊後、永い低迷を続けて来た景気も、漸く緩やかな回復を辿りつつありますが、一部に未だ閉塞感がたどっていることも否めません。かかる中に、選手諸君はそれぞれ各会社において、平素より剣の道に精進し、率先社員の士気を鼓舞し、会社活力の源泉となり、地の塩、人となつて来た人達だと思ひます。

『葉根譚』に、「友と交わるには須らず三分の俠氣を帯ぶべし。人と作るには一点の素心を存するを要す」とあります。俠氣をもたない者には友と交わることは出来ない。純粹な気持ちもなくしてしまつては、人としての成長は臨めない、という意味です。

いやしくも剣を志した程の者は、この「素心」の持主の筈です。勝負は、勿論勝つことも大切であるが、この大会に参加することの意義も亦大きいと云ねばなりません。どうか本日の大会において、平素の実力を十分発揮し、悔いのない闘いをされんことを切望いたします。

終わりに、本大会の開催に当り、ご協力ご支援を賜りました大会役員はじめ関係各位に心からお礼を申し上げます。



第5代 会長 氏
中村 龍夫
日本鉱業(株) 社長
平成元年6月～5年6月

私儀、このたび御推挙により、前佐々木会長の後任を仰せつかりました。どうかよろしくお願い申し上げます。

さて、本日ここに各社を代表する二百チーム、一四〇〇有余の精鋭が参集のもと、第三十二回関東実業団剣道大会が盛大に開催されますことは、誠に御同慶の至りであります。

御参会の選手諸君は、実業界の各分野にあつて、職務に精励される傍ら、平素から剣の道にたゆまむ精進を続けておられる方々であります。その稽古の態様は各々の職場により区々であるとは存じますが、いづれも限りなく剣道を愛し、剣の修行を通じて心身を錬磨し、実業人としてまた社会人として大成を志しておられることと存じます。大会はこれら有為の人々が年一回相集い、競いあう折角の場でもあります。どうか、日頃の鍛錬の成果を十二分に発揮し、気剣体一致を目指し、堂々の剣道を披露されとともに、相互の親睦交流を、更に深められることを切に望みます。

終わりに、本大会開催に当たり、絶大なる御支援御協力を賜りました各方面の御厚志並びに大会役員はじめ関係各位の御尽力に心から御礼を申し上げ、御挨拶いたします。



第6代 会長 氏
加賀谷 誠一
(株)フジクラ 相談役
平成5年6月～8年9月

この度、はからずも中村龍夫前会長の後任として会長の席をけがすことになりました加賀谷誠一でございます。

本日、第三十六回関東実業団剣道大会を開催するにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。関東地区の各実業団から

二百三十六チームに及ぶ大勢の剣士諸君にお集まり頂き、かくも盛大に大会を開催出来たことを主催者側として深く感謝致しております。剣道を通じて、産業人の人格形成、体位の向上、および相互の親睦を図り、もつて我が国の産業振興に寄与することを目的とする人達のこのような集まりが、毎年発展の一途を辿りつつありますことは、ひとえに各事業所の皆様のご理解と関係各位のご努力によるものと深く感謝申し上げます。

このことはわが国古来の歴史と伝統のある剣道の優れた真髓が、深く且つ、広く認識されていることでありまして、今日各地の事業所において広く親しまれていると共に、世界の剣道としても普及されてまいりましたことは誠に同慶の至りに存じます。

本日この大会において、皆様方が平素鍛えられた成果を遺憾なく発揮され、心技一体の熱戦を展開されると共に、この機会に各事業所相互の親睦をより一層図られて有意義な一日とされますよう心から期待いたします。

終わりにのぞみ、本大会の役員をはじめ関係各位の絶大なるご支援と、ご協力を賜りました各位のご厚志対し心からお礼を申し上げます。ご挨拶いたします。

👉 探しています!

関東実業団剣道大会第1回大会(昭和34年6月7日)・第2回大会(昭和35年7月3日)のプログラムを探しています。

お持ちの方は下記にご連絡下さい。

【お譲り下さった方に薄謝呈上】

☎111-0032 東京都台東区浅草 7-1-14
関東実業団剣道連盟 事務局
電話・FAX 03-5603-2601

剣道・居合道・空手道・合気道・柔道・格闘技・少林寺拳法

尚武堂産業株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷1-4-6

TEL.03(3815)0411(代)

- J R (総武線) 水道橋駅下車
- 地下鉄：(都営6号三田線) 水道橋駅下車
(営団丸の内線) 後楽園駅下車

営業時間

平日：AM11:00～PM7:00

日曜祭日：AM11:00～PM6:00

定休日：水曜日



豊富な品揃え

建武堂では都内有数の広い売り場スペースに各種商品を豊富に展示しております。是非一度御来店下さい。

アフターフォロー万全

あなたにあった道具のカウンセリングからアフターフォローまでをサポートいたします。

株式会社 **建武堂**

営業時間AM10:00～PM7:00

(日曜・祭日はPM6:00まで) 毎週月曜定休

〒170-0013東京都豊島区東池袋1-15-1 菱山ビル2F

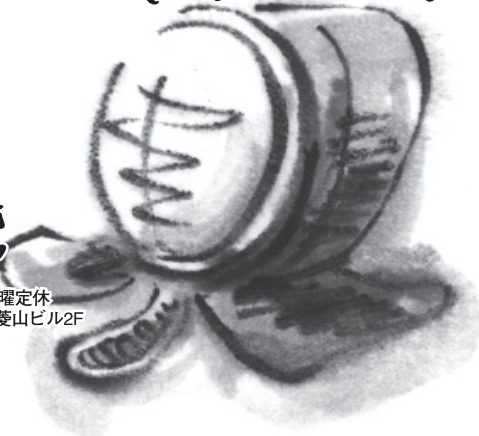
TEL 03-3971-4840(代)

FAX 03-3971-4461

URL: <http://www.kenbu-do.co.jp/>

e-mail: information@kenbu-do.co.jp

ここまで使って
もうえると
ほんとに嬉しい
建武堂に帰れば
いくら疲れても
また戦える



道黒のバヤリ

伝統が活きる 武州正藍染

剣道着・袴・剣道防具用生地 製造元

小島染織工業株式会社

● 本 社
埼玉県羽生市大字神戸 642-2
電 話 (048) 561-3751

● 東京営業所
東京都中央区日本橋人形町 3-1-9 コジマビル3F
電 話 (03) 3661-3059

武道用品の総合メーカー ミツボシ



ムサシ! 逃げるか!

—ミツボシの剣道具は、天下無敵。—



株式会社 ミツボシ

URL: <http://www.mitsuboshi-web.com>
e-mail: webmaster@mitsuboshi-web.com

本社/〒111-0053 東京都台東区浅草橋4丁目1番2号 TEL (03) 3861-8071
大阪店 TEL (06) 6445-6285 仙台店 TEL (022) 288-1391 福岡店 TEL (092) 474-8411
名古屋店 TEL (0587) 38-6980 羽生店 TEL (048) 561-0374 久慈工場 TEL (0194) 53-5331

流通サービス業の雄になる!



ドウシシャが目指す流通サービス業は
単にメーカーと小売店をつなぐ卸売業ではなく
ニッチマーケットに対し

30年にわたる流通でのノウハウを活かし
時代とともに変化する顧客ニーズに対して
商品の「企画」・「開発」・「製造」・「販売」の
流通プロセスを通じ

顧客満足度を第一に考え
他社には出来ない商品・サービスの提供を進化させていきます



東証・大証一部上場

株式会社 ドウシシャ

● ホームページもご覧ください。 <http://www.doshisha.co.jp>

梅田式の伝統を守る
唯一の防具屋
面の制作に命をかけて八十余年
高級剣道具
特別銃剣防具
居合刀



株式会社 元沢武道具製作所

元沢作二代目 元沢大訓

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-18-5 TEL (3342) 1764
FAX (3342) 1884

◆ 勘 松 ◆
松勘

松勘工業株式会社
本社：埼玉県加須市土手一四一七
電話：(0486) 611-311 (代)
FAX：(0486) 611-0444



本流を歩む
きびしい武道精神が脈打つ
一〇〇年の歴史と伝統。
寸分の狂いもゆるさない
絶対の技術。剣士の膚に
吸いつき、技に生きる確
かな武道員、それが
松勘剣道具です。

● 伝統と技術を誇る……

東京
大和
渋谷

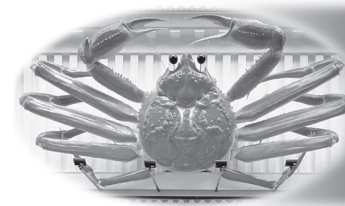
武道具の製造販売
株式会社 大和武道具製作所
登録商標

〒151-0071 東京都渋谷区本町4-18-3

☎ 03 (3372) -2668・7972

FAX 03 (3372) -1002

(ご注文により製作致します)



剣道大会、稽古後のご会食には是非、
お近くの **かに道楽** で…

剣道関係者様のみの特別ご奉仕メニュー

せいどうかいせき

誠道会席



ドリンク2本付
5,000円(税込)

剣道関係者様向けの特別会席をご用意しました。
ご利用の際は、各店の店長・マネージャーに「誠道会席」と
お申し付けくださいませ。

おいしさ
年中無休

かに道楽

[www.douraku.co.jp / kanto](http://www.douraku.co.jp/kanto)

● お問い合わせはー

かに道楽 関東地区本部 〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋1-23-30 ☎ 03-3626-0071 担当：藤崎

“履いて楽しい安全靴”への

進化

まるで自動車のように

究極の「安全性」・「快適性」を追求し

進化を続けるシモンの安全靴

ソリッドゴムタイヤ



黎明期

空気入りタイヤ

衝撃を吸収し乗り心地が向上。



発展期

カーボンブラック
混合タイヤ

耐久性が格段にアップ。



独立懸架の
サスペンション
搭載

四輪それぞれが上下に動く
独立懸架（インディペンデント・
サスペンション）を搭載。安定性、グリップ力が飛躍的に
進化しました。



素材改良期

機構発展期

合成ゴム底



ポリウレタン1層底

発泡性素材の特長により、軽さ、
クッション性が向上。



ポリウレタン2層底

性質の異なるポリウレタンを組み合わせる
ことで、耐久性・クッション性が格段に向上。



SX3層底

シモン独自の独立懸架方式（サスペンションシステム）が
悪路からの衝撃を吸収し安定性を確保。また接地面積の
増大により、グリップ性能が飛躍的に高まりました。



SX3層底 HYBRID SOLE

特許取得（特許第2140663号取得）
ハイブリッドソール

3層だから実現した卓越した性能

疲労から救う
クッション性

足裏に伝わる
衝撃吸収性

全方向への
抜群の
グリップ力

1層 Mid-sole

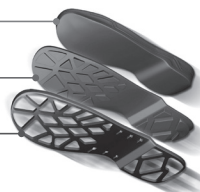
足へのショックをやわらげる、SX高機能樹脂（Simon Liteシリーズ）、
SXウレタン（Tritheo、8600、Simon Starシリーズ）

2層 Out-sole

独立懸架で床面をグリップするSXラバー

3層 Frame-sole

アウトソールを支え、安定性を保つSXラバー



©シモン製品に関するお問合せ先

本社:〒113-8479 東京都文京区本郷3-20-1

お客様相談室 ☎ 0120-345-092 受付時間10:00～17:00/土、日、祝日、弊社休日を除く

<http://www.simon.co.jp/>

▶ ふだんお使いの検索エンジンでGO!

シモン

検索

定価820円 No.430
2008

K E N D O J I D A I 剣道時代

読者とともに創造する

大特集

先制力

濱崎満・伊藤知治・山田洋介・石田利也・栄花英幸・深谷仁・近本巧・佐藤博光

機会をどう活かすかのポイント
週1回基本稽古で先制力を養う
先制力をつける簡単トレーニング



秋田魁星旗

剣道ちよつといい話

特報 全国高校選抜 強豪次々戦線離脱 帝京第五・中村女子が頂点

嵐を呼ぶセンバツ

連載小説 剣士たちの季節3
雷鳴る 林 朗 堂本昭彦
私の好きな言葉 鏑 喜裕
師を語る母を語る 木下俊一
有馬光男の明日もいい天気
白石流体感少年剣道 白石輝志通
監修解説 高道館 岡田守弘の剣道秘訣 岡田守正
剣道自分史 羽生興武館内弟子修行 野澤治雄
表紙&インタビュー 中田 淳

近畿高校選抜・水戸大会
毎日レディース大会

<http://www.taiiku-sports.co.jp>

特集 KENDOの共同企画 小さな出来事だけに胸に刻まれる！

剣道ちよつといい話

剣道時代の特集

先制力 2008年6月号

濱崎 満「先制力で出ばなを打つ。六つのポイント」
伊藤知治「週1回の基本稽古で先制力を養う」
石田利也「肩に注目して出ばなを打つ」

展開力 2008年5月号

太田忠徳「展開力の心得十か条」
伊藤陽文「展開力を磨く稽古法」
二子石貴資「名手の攻めと技の組み合わせ」

構え力 2008年4月号

千葉 仁「構えの悩みスッキリ解消重点十項目」
香田都秀「四つの基本で打てる構えになる」
宮崎史裕「構えの軸をぶらさずに攻めて打つ」

徹底攻撃力 2008年3月号

小林英雄「攻撃力はこうして身につける」
蒔田 実「攻撃のプロセスを理解し、一本を打つ」
高橋 亨「すぐ役立つ攻撃力をアップさせる稽古法」

剣を学び、道を学ぶ
剣道時代は「読む」剣道である

K E N D O J I D A I 剣道時代

毎月25日発売／定価820円(税込) 年間購読料=9840円

稽古で強くなりたかったら剣道時代。
試合で勝たなかったら剣道時代。
昇段審査で合格したいなら剣道時代。
そして、剣道を人生の糧としたかったら剣道時代。
あなたの剣道時代は読む剣道です。

剣道時代の本

子どもを輝かせる スポーツコミュニケーションスキル

山口文子著／定価1785円

子どもの心が育つ聴き方、
話し方はこれだ



話すテンポに声のトーン、あなたはどこまで
気を使っていますか？ 少しの工夫で変
わるあいさつの仕方、むずかしい控え選手
への言葉かけ、そして今、問題のモンスタ
ーペアレンツの対処法まですぐに使えるコ
ミュニケーションスキルを詳解。



強くなるための 剣道コンディショ ニング&トレーニング

齋藤実編著／定価2625円

剣道界初のコンディショニングブックがっ
いに完成。強くなるためのトレーニング、
食事、水分摂取の方法などをわかりやすく
詳解。

関東実業団剣道大会の結果は
剣道時代8月号(6月25日発売)に
掲載します。

(株)体育とスポーツ出版社

〒101-0054

東京都千代田区神田錦町2-9大新ビル4F

営業部 電話 03 (3291) 0911

ホームページ●<http://www.taiiku-sports.co.jp>

携帯サイト●<http://kmaga.jp/kendo>

ご注文はこちらへ → FAX 03-3293-7750

月刊剣道時代

月号から年間講読申込み

冊

住所

氏名

電話番号



上質な素材と
美しいフォルムが演出する、
くつろぎのモダンインテリア



有明本社	Tel.03-5530-5555	新宿	Tel.03-5379-4321	日本橋	Tel.03-3270-4321	銀座などみらい	Tel.045-650-4321
多摩	Tel.042-311-5555	幕張	Tel.043-350-4321	春日部	Tel.048-754-4321	名古屋栄	Tel.052-951-4321
名古屋星崎	Tel.052-819-4321	大阪南港	Tel.06-6612-4321	梅田	Tel.06-6345-4321	神戸	Tel.078-360-4321
福岡	Tel.092-281-4321	小倉	Tel.093-551-4321	郡山	Tel.024-924-4321		
ボルトローナ・フラウ日本橋 (イタリア高級ブランド「ボルトローナ・フラウ社」の専門ショップ)				Tel.03-5203-4321			
モダンスタイルショップ 淀屋橋				Tel.06-6222-4321			

——— 確かな価値との出会い ———

IDC 大塚家具

www.idc-otsuka.co.jp

IDC大塚家具は(株)大塚家具のコーポレートブランドネームです